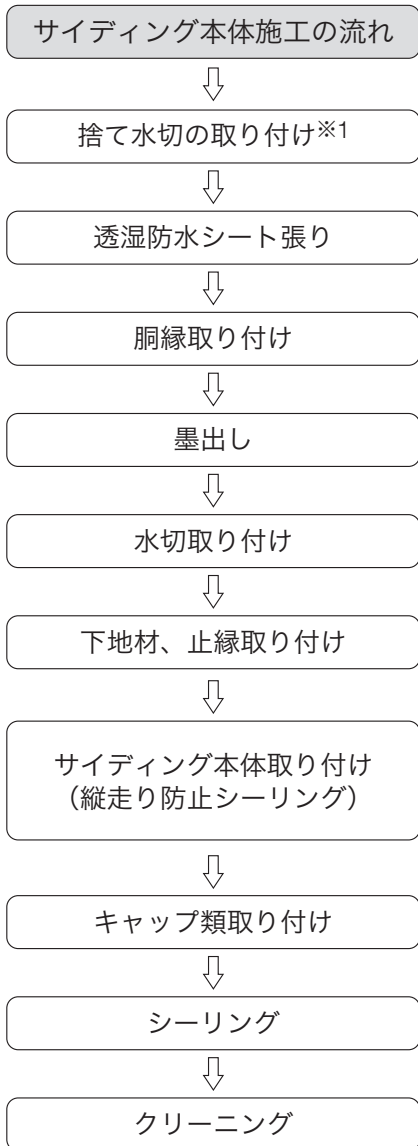


4 施工の手順とポイント

単位：mm

4-1. 施工の流れ



※1 水切25を使用する場合。

- ① 先付け部材
- ② 後付け部材

部位	必要部材	手順	
土台部	水切25 縦用スターター25 アルミ縦用スターター25	① ① ①	
出隅部	〔 出隅下地25N 3M出隅キャップ15-25 4M出隅キャップ15-25 〕	① ② ②	
入隅部	止縁C25	①	
縦継ぎ部	水切25 縦用スターター25	① ①	
軒部	〔 通気軒見切15-25 止縁C25 止縁捨板15-25 止縁キャップ25 〕	① ① ① ②	
見切り下屋部	-	-	
笠木部	水切(現場加工) 縦用スターター25	① ①	
下がり壁部	下がり壁水切(現場加工)	①	
開口部	上	捨板(15×85) 止縁C25※2	① ①
	左右・下	〔 止縁C25 止縁捨板15-25 止縁キャップ25 〕	① ① ②
	隅角	ワンタッチコーナー キャップ15-25	②

注) 部材の〔〕内はセットで使用してください。商品毎に対応部材が異なります。各商品の部材規格をご確認ください。

※2 水抜き穴(Φ8@300mm)の現場加工が必要です。

- ① 先付け部材
- ② 後付け部材

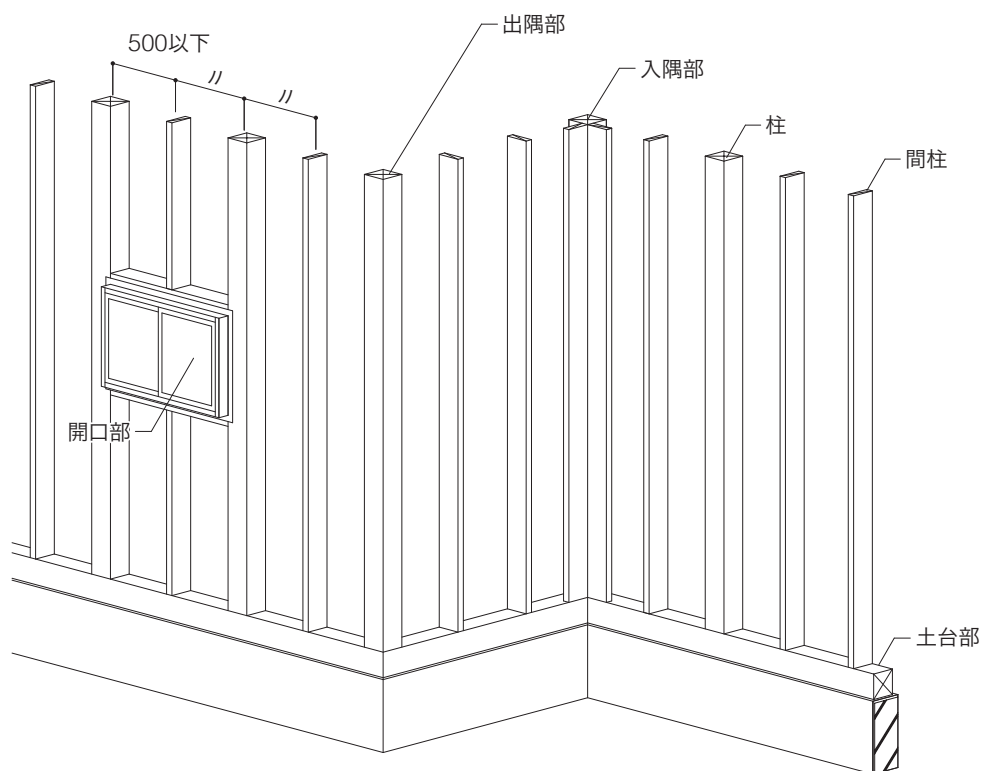
4-2. 施工のポイント

単位:mm

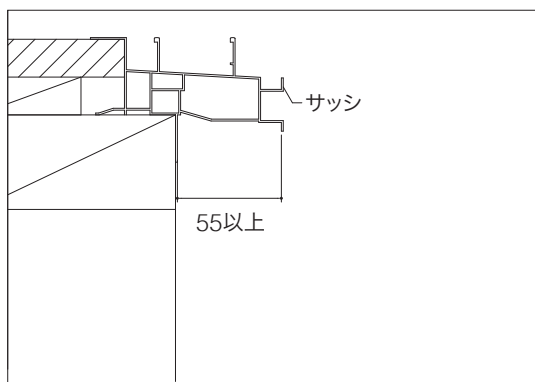
4-2-1. 下地の施工

●柱・間柱・サッシなどのチェック

- ・柱、間柱の間隔は500mm以下としてください。
(一部の防耐火構造認定では455mm以下に指定されています。)
- ・本体に室内側から何らかの力が加わると、仕上がりの意匠に影響が出る場合があります。取り付け面に突起物がないことを確認してください。また、躯体と本体との間に充てん材などを施工する場合は、本体に充てん材などの反発力が作用しない構造としてください。
- ・入隅部、開口部などでは、90mm幅の胴縁を取り付けます。胴縁の取り付け面を確保してください。
- ・サッシは、半外付けサッシまたは外付けサッシを使用してください。

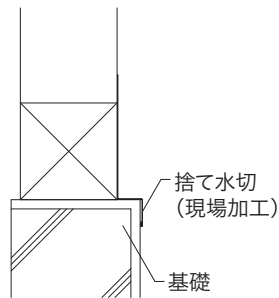


- ・サッシは、下地表面からの出幅が55mm以上のものを使用してください。

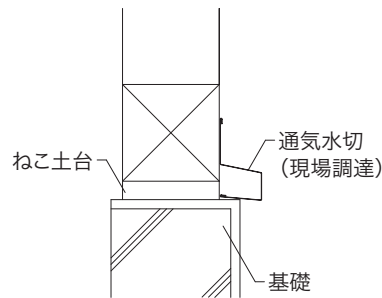


4-2-2. 捨て水切または水切(現場調達)の取り付け

●水切25を使用する場合



●水切(現場調達)を使用する場合

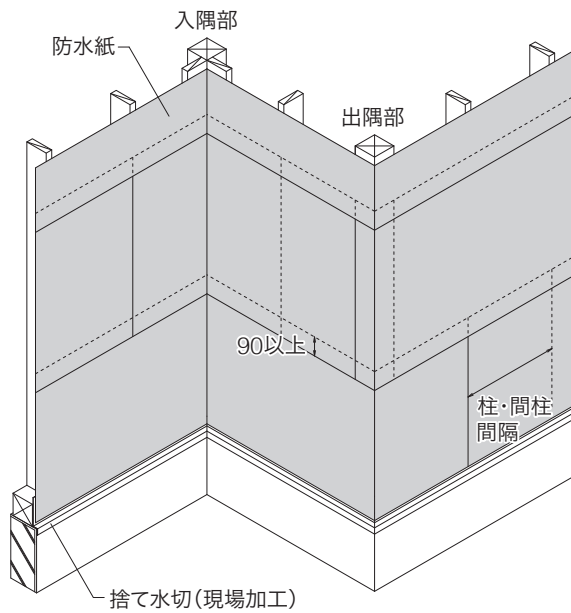


4-2-3. 透湿防水シート張り

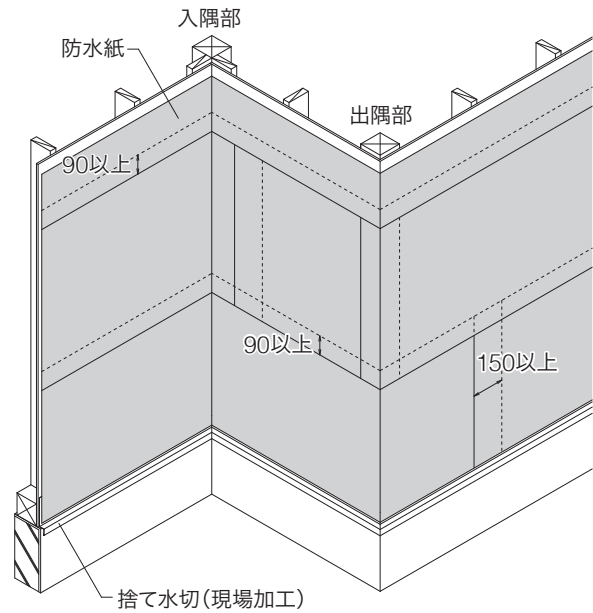
[一般部]

- ・透湿防水シートは横張りを原則とし、下から上へ張り上げてください。重ね合わせは鉛直方向で、90mm以上、水平方向で耐力面材のない場合は、間柱(柱)と間柱の間とし、耐力面材のある場合は150mm以上としてください。
- ・換気口、配管回り、その他の壁貫通口などの周囲は、防水テープを貼り、すき間ができないように透湿防水シートと密着してください。

●構造用面材がない場合

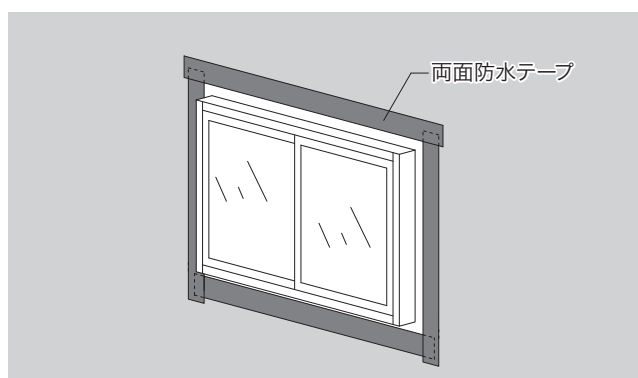


●構造用面材がある場合



[開口部]

- ・開口部では、サッシ枠周囲に両面防水テープを貼り、すき間ができないよう防水紙を密着してください。



4-2-4. 胴縁の施工

次の胴縁を施工してください。

一般部：18×45mm以上

出隅部：18×45mm以上と18×60mm以上を併用（下図、P27参照）

土台部、縦継ぎ部、開口部など：18×90mm以上、または18×45mm以上（ダブル）

胴縁は、防水紙の上に、500mm以下※1の間隔で取り付ける。

胴縁の取り付けにはくぎまたはビスを使用し、500mm以下※1で留め付ける。

胴縁は柱、間柱、土台、桁材などに取り付けます。

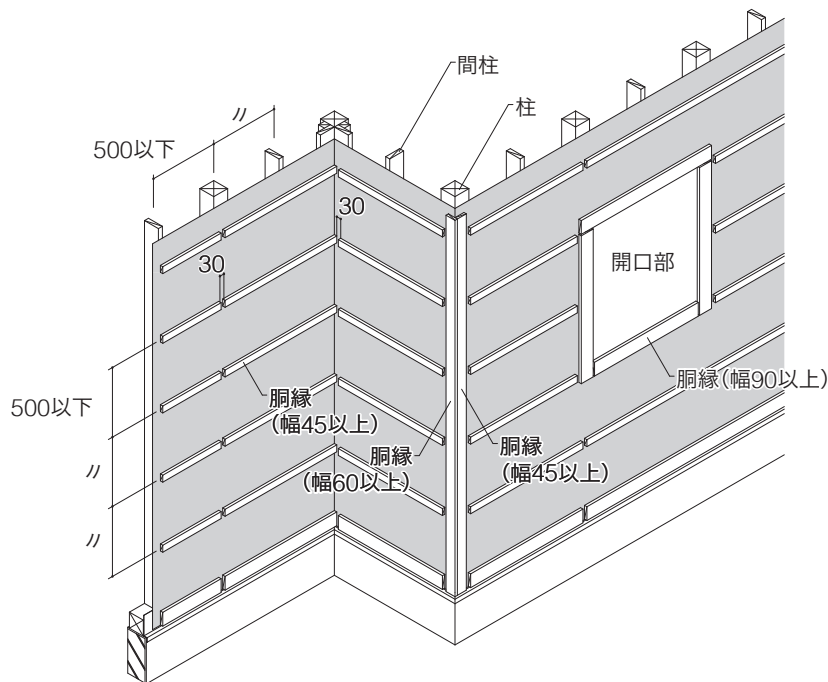
開口部周囲は、通気経路を確保してください。通気の出入り口には、必要に応じて防虫網を取り付けてください。

・使用する部材の納まり図を参照し、胴縁を手配してください。

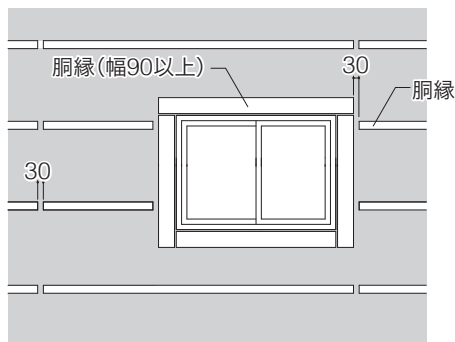
※1：一部の防耐火認定では、455mm以下

※2：横胴縁は、商品を直接取り付けのため、十分な強度が求められます。

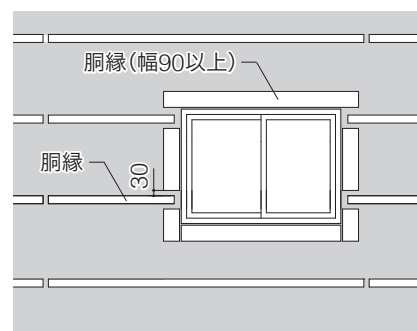
（防耐火構造認定では、15×45mm以上のサイズが認められていますが、当社では厚さ18mmを推奨しています。）



[開口部]



開口部周囲の胴縁は、30mm程度のすき間をあけ、通気を妨げないように施工してください。



横胴縁がサッシ左右に留め付けられない場合は、右図のように配置してください。

4. 施工の手順とポイント

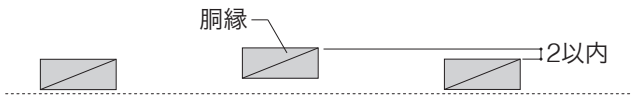
単位:mm

【胴縁の不陸】

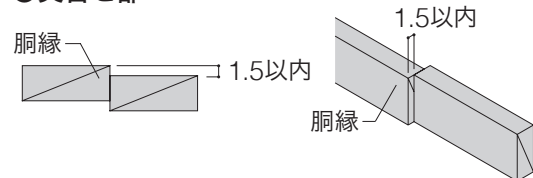
本体を施工する前に、胴縁の不陸を確認し調整をしてください。

胴縁間の不陸は、2mm以内としてください。SP-ガルボウは、表面がフラットです。表面のゆがみや下地の跡が強調される場合があります。突合せ部は、1.5mm以内としてください。

● 胴縁間



● 突合せ部



4-2-5. 墨出し

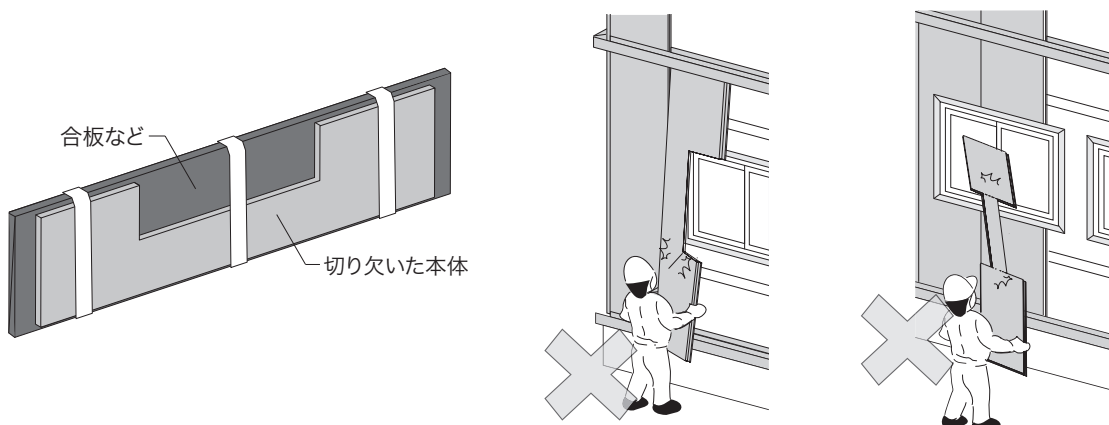
- ・ 墨出しを行い、部材を水平、垂直に施してください。

4-2-6. 先付け部材の施工

- ・ 施工前に、キャップ類と下地部材の組み合わせについて間違いがないか確認してください。
- ・ 部材同士の納まりを考慮して施工してください。特に水が浸入した場合の排水経路の確保に留意してください。
- ・ 部材同士の取り合いについては、「⑤各部位の納まり図」、「⑥部材の加工例とつなぎ方 6-1. 部材の加工例」を参照してください。

4-2-7. 本体の取り付け

- ・ 本体の切断
各施工箇所に合わせて、本体を切断してください。切断時に出るバリ・切り粉はさびや汚れの原因となりますので必ず除去してください。壁面の終端などでは、本体のはめ込み代が必要になります。採寸時にご留意ください。本体のかん合部を切断して施工した場合は、本体の表面から留め付けてください。
- ・ かん合の際は、必要以上に強く押し付けすぎると変形のおそれがありますので注意してください。
- ・ 開口部などで本体を切り欠く際は、各部材の位置を確認し本体に無理な力がかからないように切り欠き寸法を設定し切断してください。また、本体を変形させるような無理なはめ込みは避けてください。
- ・ 本体を切り欠き加工すると強度が低下し破損しやすくなります。持ち運び時には切り欠き部に当て板を当てるなどして、破損しないように注意してください。かん合部の両側を切り欠いた際は特に注意してください。採寸時にご留意ください。
- ・ 本体は、働き幅で施工してください。働き幅より広い幅で施工すると、水密性や耐風圧強度などで十分な性能を発揮できなくなるおそれがあります。



4. 施工の手順とポイント

単位:mm

4-2-8. 後付け部材の取り付け

- ・キャップ部材は下地捨板とのはめ込み式になっています。確実にはまっているか確認してください。

4-2-9. シーリング・補修

- ・シーリング、塗料の被着面が高温の場合は施工を控えてください。また、水分、油分、ほこりなどに注意してください。

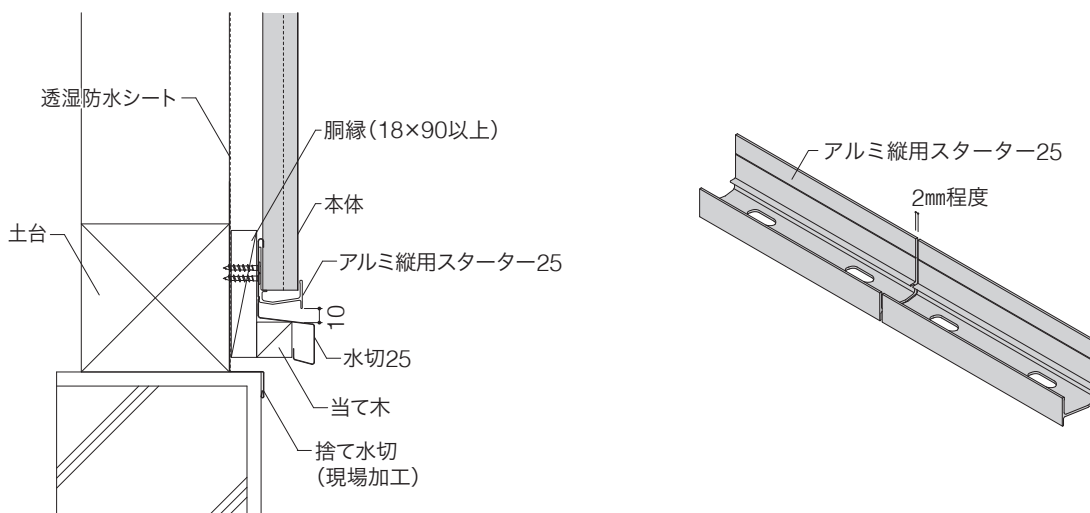
4-2-10. 清掃・廃材処理

- ・製品表面をクリーニングする場合は、水または中性洗剤で洗浄してください。中性洗剤は水でよく洗い流してください。堅いブラシは使用しないでください。
- ・包装材・残材などの廃材は、産業廃棄物として適切に処分してください。

4-2-11. 積雪(雪の負荷)への対応

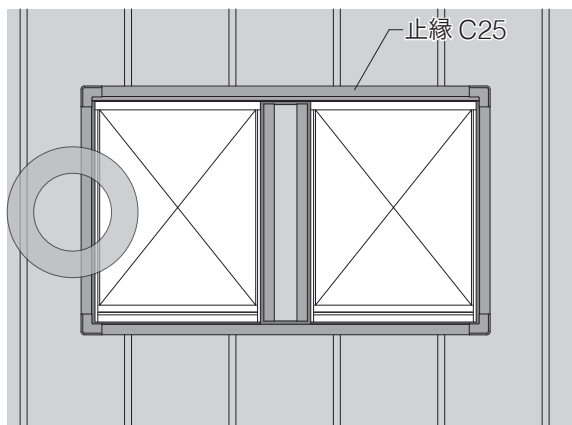
- ・積雪や落雪、または除雪した雪が外壁面までたまる場合は、次のように対応してください。
- ①外壁の変形を防ぐため、雪が積もる高さまで胴縁の間隔を狭くしてください。
 - ②水切25は、雪の重みで変形するおそれがありますので、当て木を入れるなどの対処をしてください。
 - ③たて張りの土台部には、縦用スターター25を使用すると雪の重みで変形するおそれがありますので、アルミ縦用スターター25を使用してください。アルミ縦用スターター 25同士を接続する際は、熱伸縮を考慮し2mm程度のすき間をあけて施工してください。

アルミ縦用スターター25を使用する場合

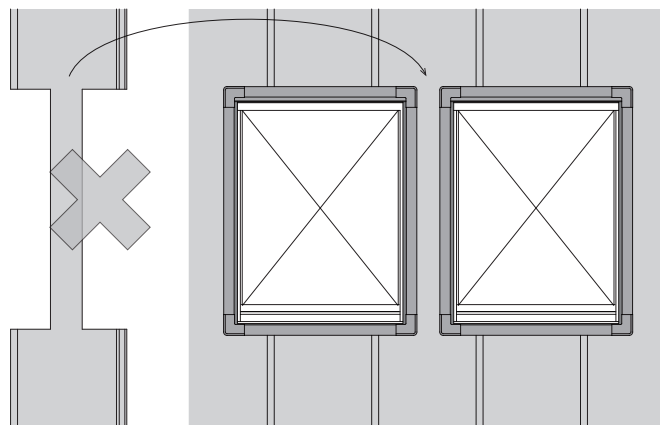


4-2-12. 連窓の施工について

① 本体の切り欠き方の制限



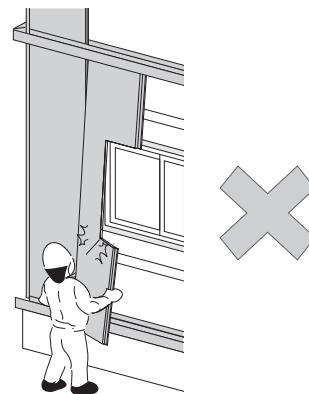
連窓上下に部材を通して、本体の両側を切り欠かないで施工してください。



本体の両側を切り欠いて施工しないでください。

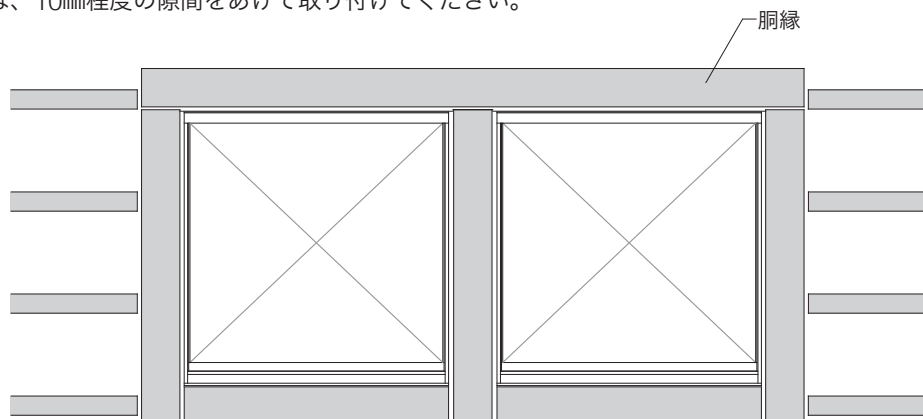
② 開口部での部材の施工

- ・ 開口部に切り欠いた本体を施工する場合、部材は止縁キャップ25と止縁捨板15-25の使用をおすすめします。止縁C25を使用した場合、たて張りの窓脇では、止縁C25に差し込むために本体を変形させるか止縁C25を広げる必要があり、歪の原因になります。



③ 連窓の場合の胴縁の配置

- ・ 開口部の胴縁同士は、10mm程度の間隙をあけて取り付けてください。

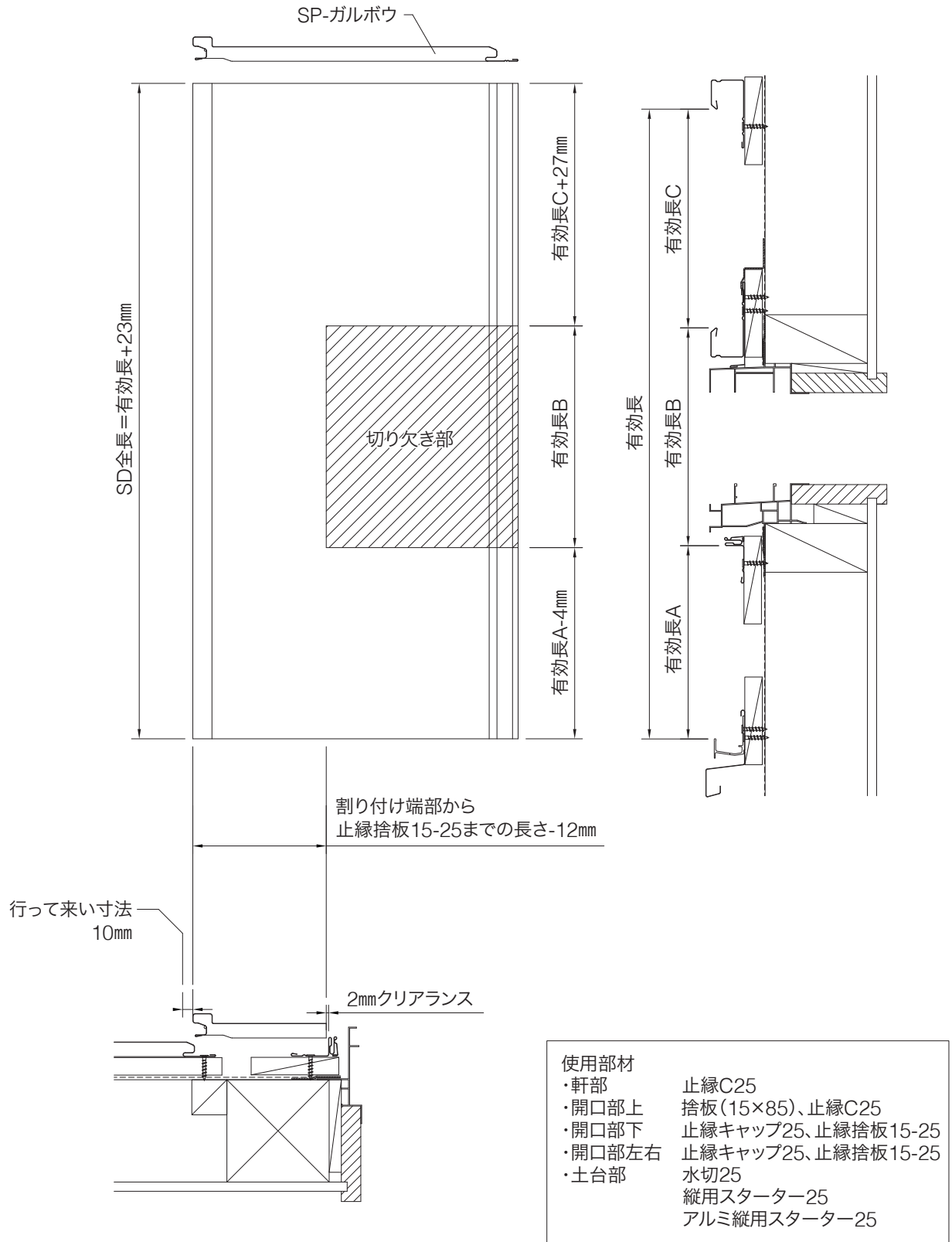


4. 施工の手順とポイント

単位:mm

④本体のくぎ打ち部を切欠いて施工する場合の寸法取りについて

- ・本体のくぎ打ち部側を切り欠いて開口部左右に施工する場合、次の寸法で加工してください。
寸法を確認し本体をひねったりねじったりせずに部材へ納めてください。



4. 施工の手順とポイント

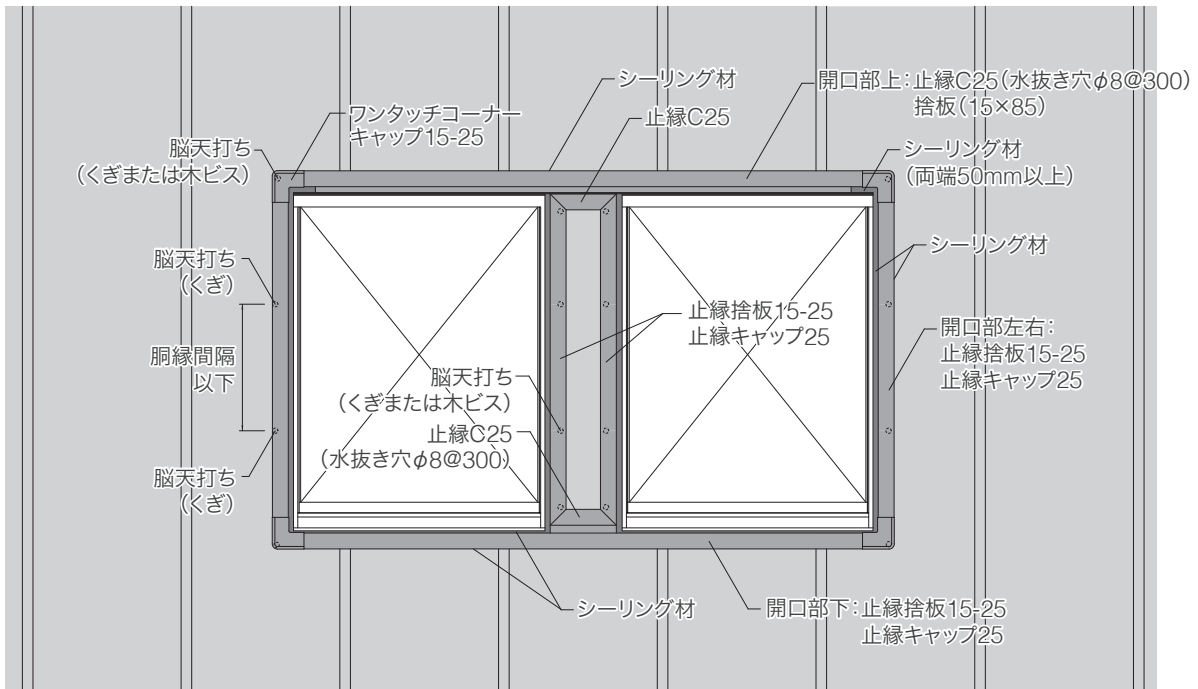
単位:mm

⑤連窓中間部の納め方

- ・サッシに標準部材として目板がある場合は目板を取り付けてください。または次のように本体と部材を加工してください。脳天打ちは、スクリューくぎまたはリングくぎ (φ2.75×L50以上) または木ビス (L50以上) を使用してください。

1) 部材で納める場合

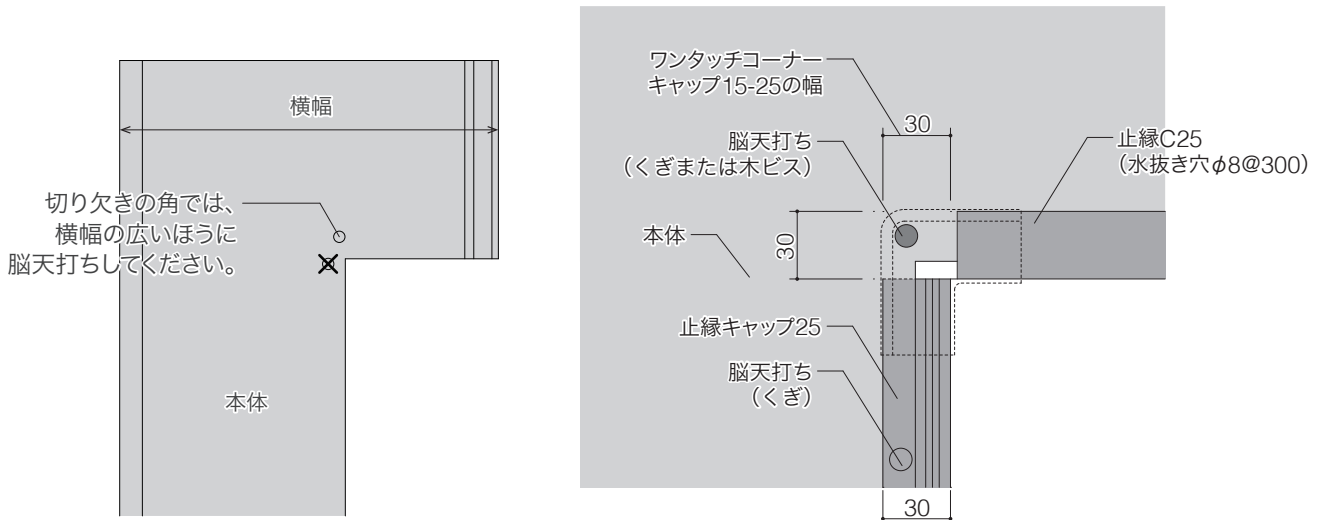
- 連窓中間部の上と連窓中間部の下：止縁C25 (水抜き穴φ8@300)
- 連窓中間部の両脇：止縁捨板15-25と止縁キャップ25



4
施工の手順と
ポイント

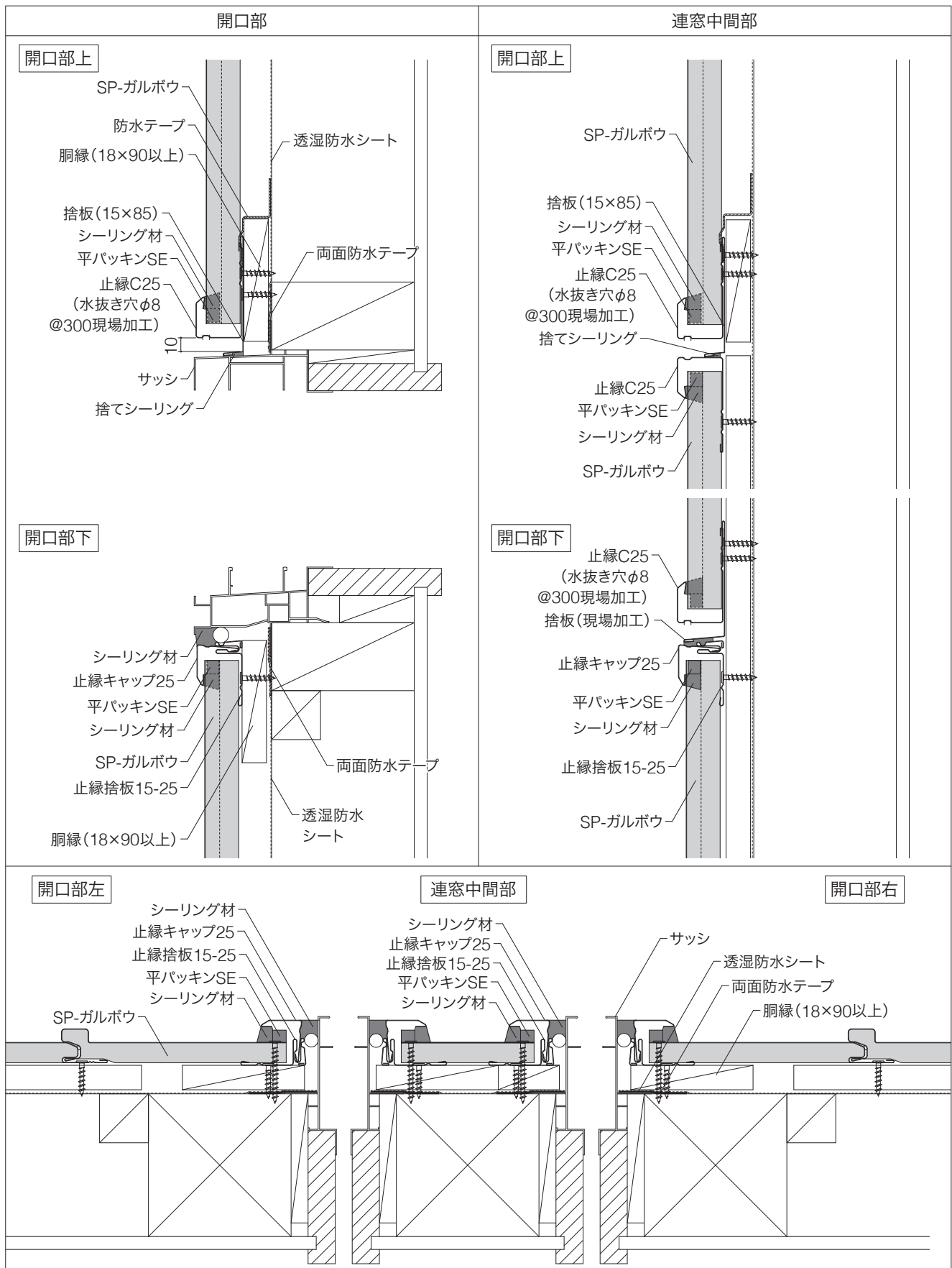
■切り欠いたSP-ガルボウに脳天打ちをする位置

- ・角部に脳天打ちを施工する場合は、ワンタッチコーナーキャップ15-25で隠れる位置に脳天打ちしてください。
- ・本体のくぎ打ち部を切り欠いた所に脳天打ちする場合は、止縁キャップ25が隠れるよう頭の小さなくぎを使用し留め付けてください。



4. 施工の手順とポイント

単位:mm



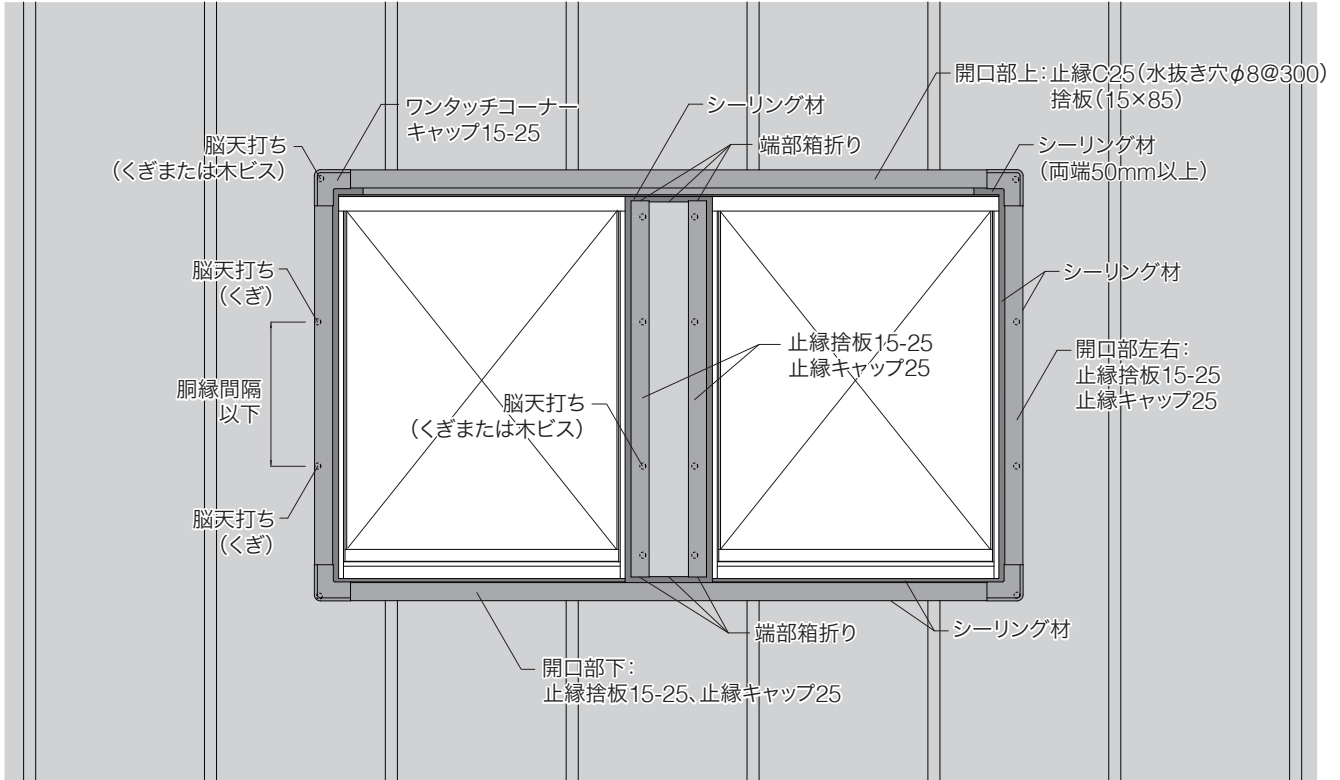
4. 施工の手順とポイント

単位:mm

2) 本体を箱折し、部材で納める場合

連窓中間部の両脇：止縁捨板15-25と止縁キャップ25

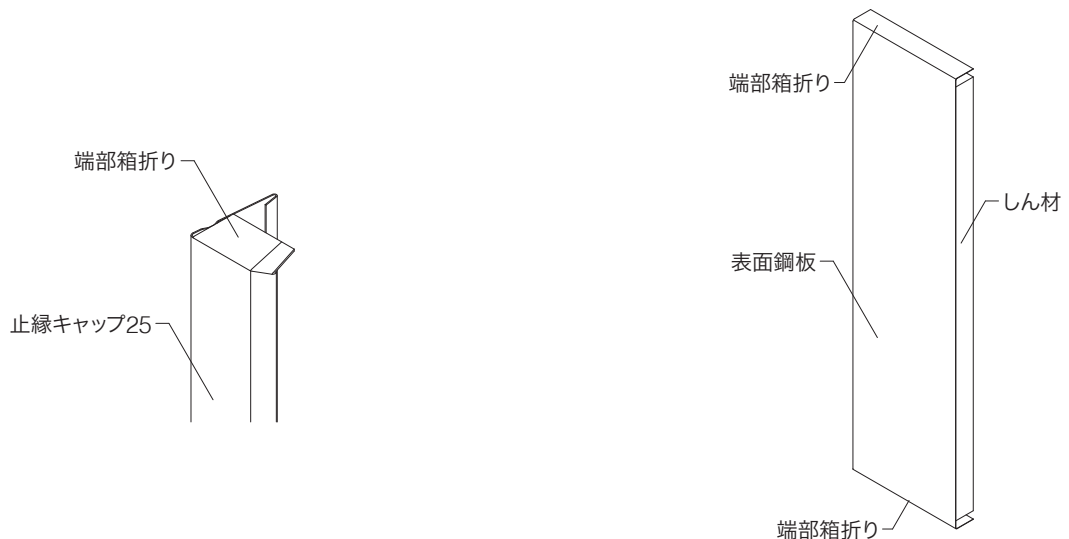
連窓中間部の上下：本体箱折（止縁キャップ25の端部は箱折加工）



4
施工の手順と
ポイント

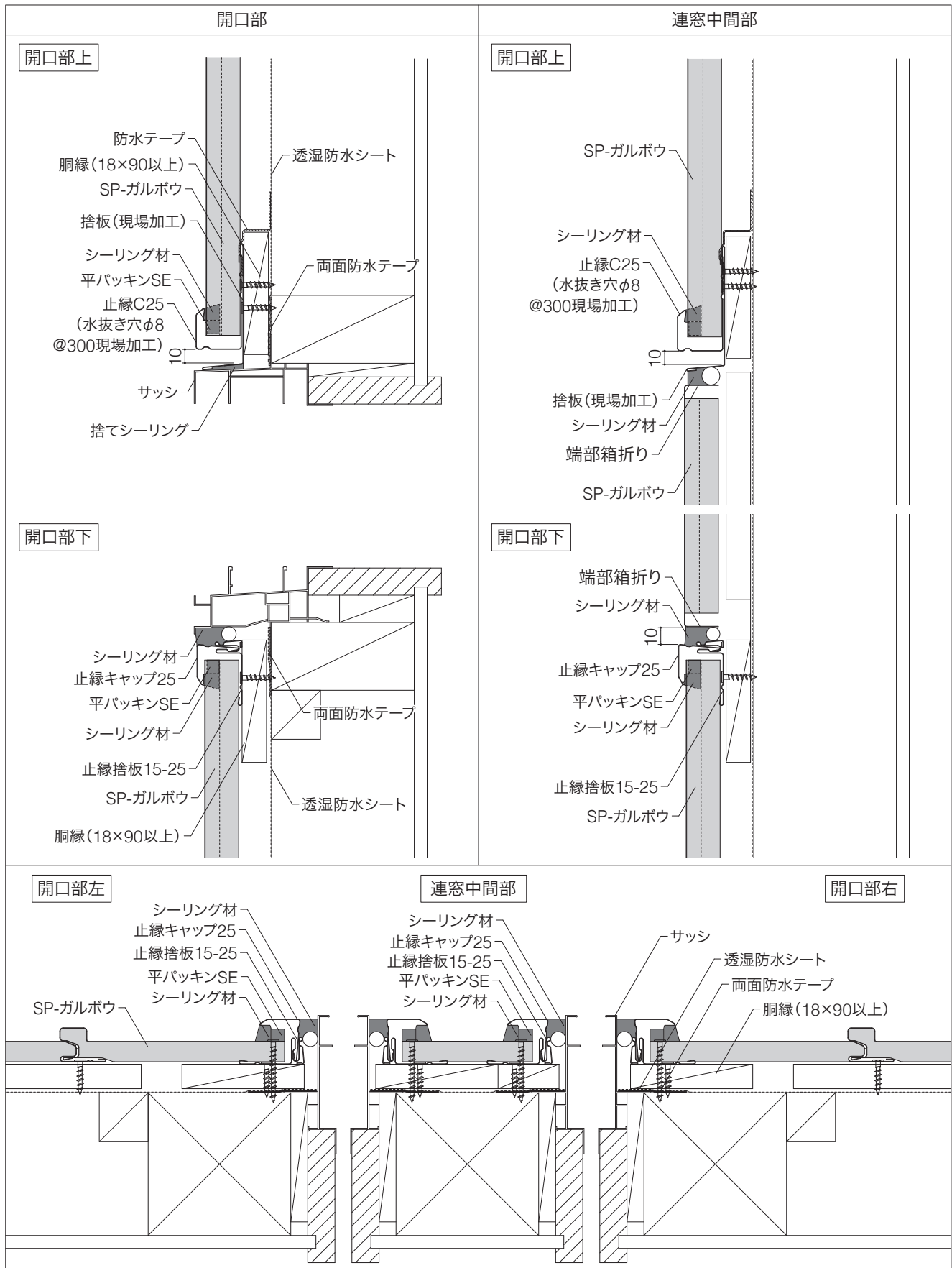
■端部箱折について

連窓中間部の本体を施工する際は、表面鋼板を折り曲げ箱折加工を施してください。しん材には、シーリング材が接着しませんので注意してください。止縁キャップ25も同じく端部箱折し、シーリング幅を確保してください。サッシと部材、本体と部材の間には、シーリング材を施工してください。



4. 施工の手順とポイント

単位:mm

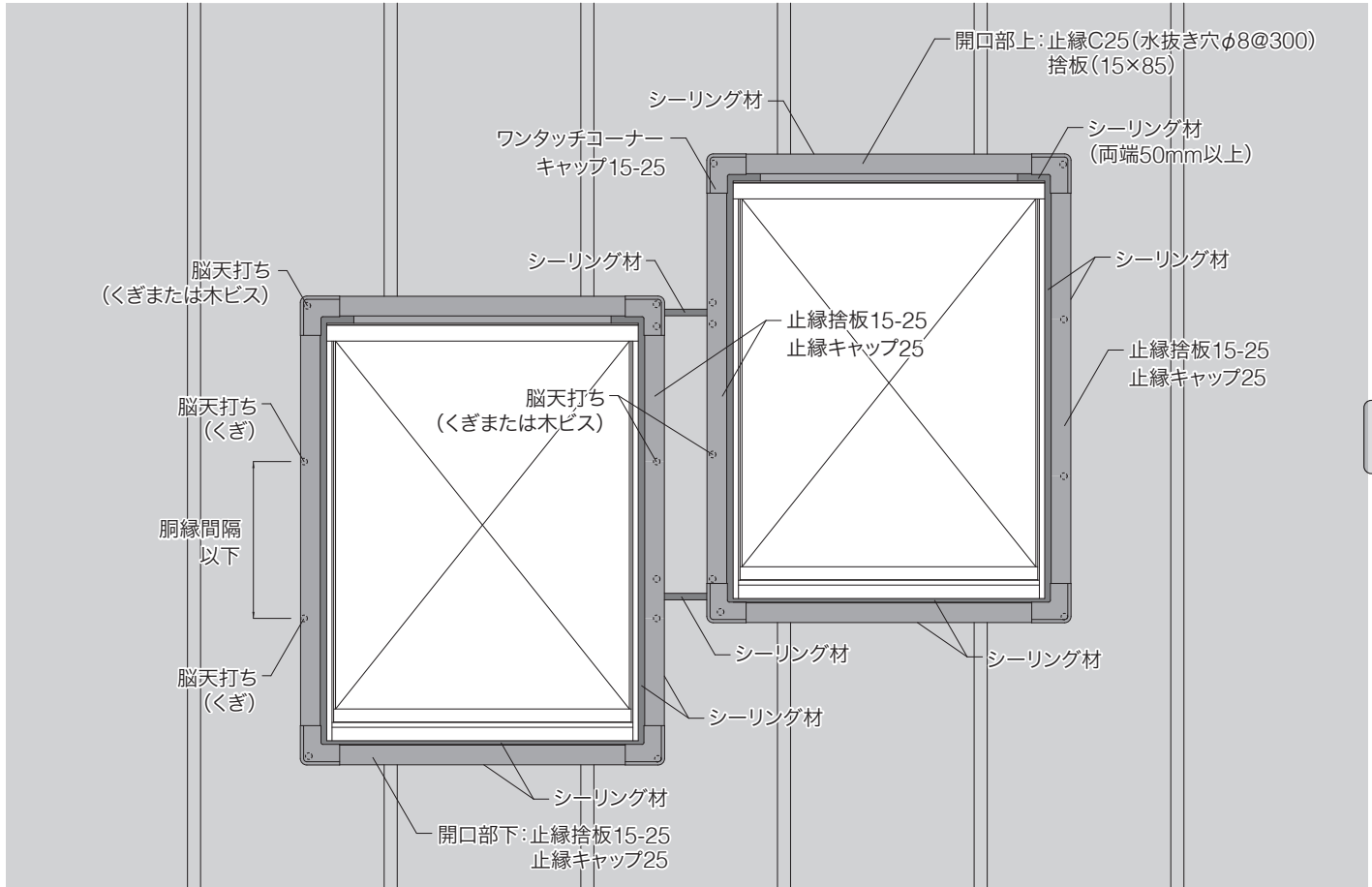


4. 施工の手順とポイント

単位:mm

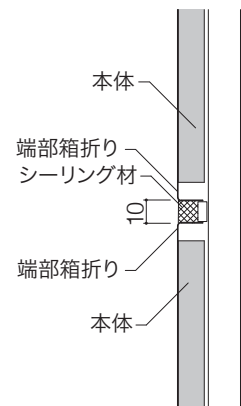
3) 連窓が段違いの場合

連窓が段違いの場合は、中間部の本体の端部を箱折りし、シーリング材を施工してください。
サッシと部材、本体と部材の間には、シーリング材を施工してください。



4
施工の手順と
ポイント

しん材には、シーリング材が接着しませんので、本体の箱折加工を施してください。
サッシと部材、本体と部材の間には、シーリング材を施工してください。



4. 施工の手順とポイント

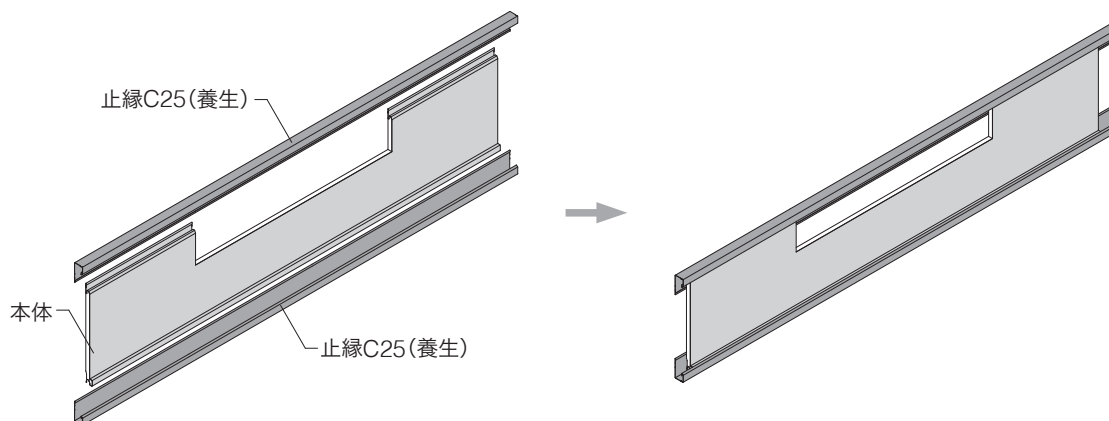
単位:mm

⑥切り欠いた本体を運搬するときの取り扱い方法

- ・切り欠いた本体を運ぶときや立てるときは、切り欠いた部分が折れたり変形する可能性がありますので、補強材をあてて運搬してください。
 - ・補強材が本体の表面に当たる部分には、表面鋼板にキズが付かないよう養生し、砂粒、ほこり、切粉などを清掃してからセットしてください。
- (推奨 長さ4m以上の長尺品を立てるときの作業人数は3～4人としてください。)

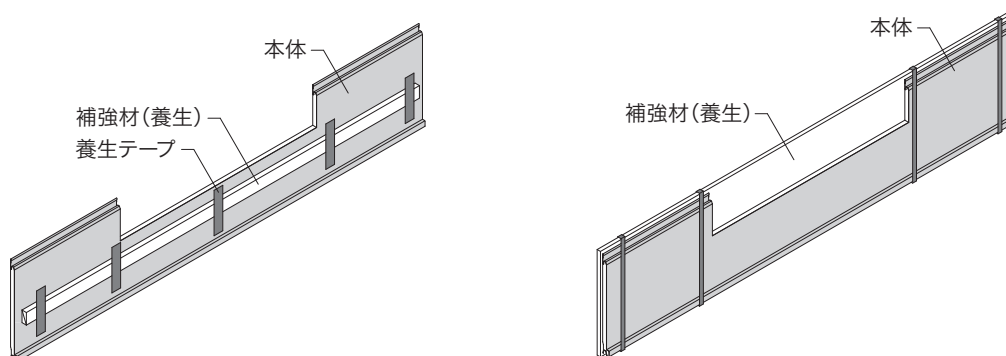
1) 本体の両側を止縁C25で挟み込んで 運搬する方法

- ・本体にキズが付ないように止縁C25は養生してから本体にはめてください。本体から脱落しないよう、止縁C25は固定してください。

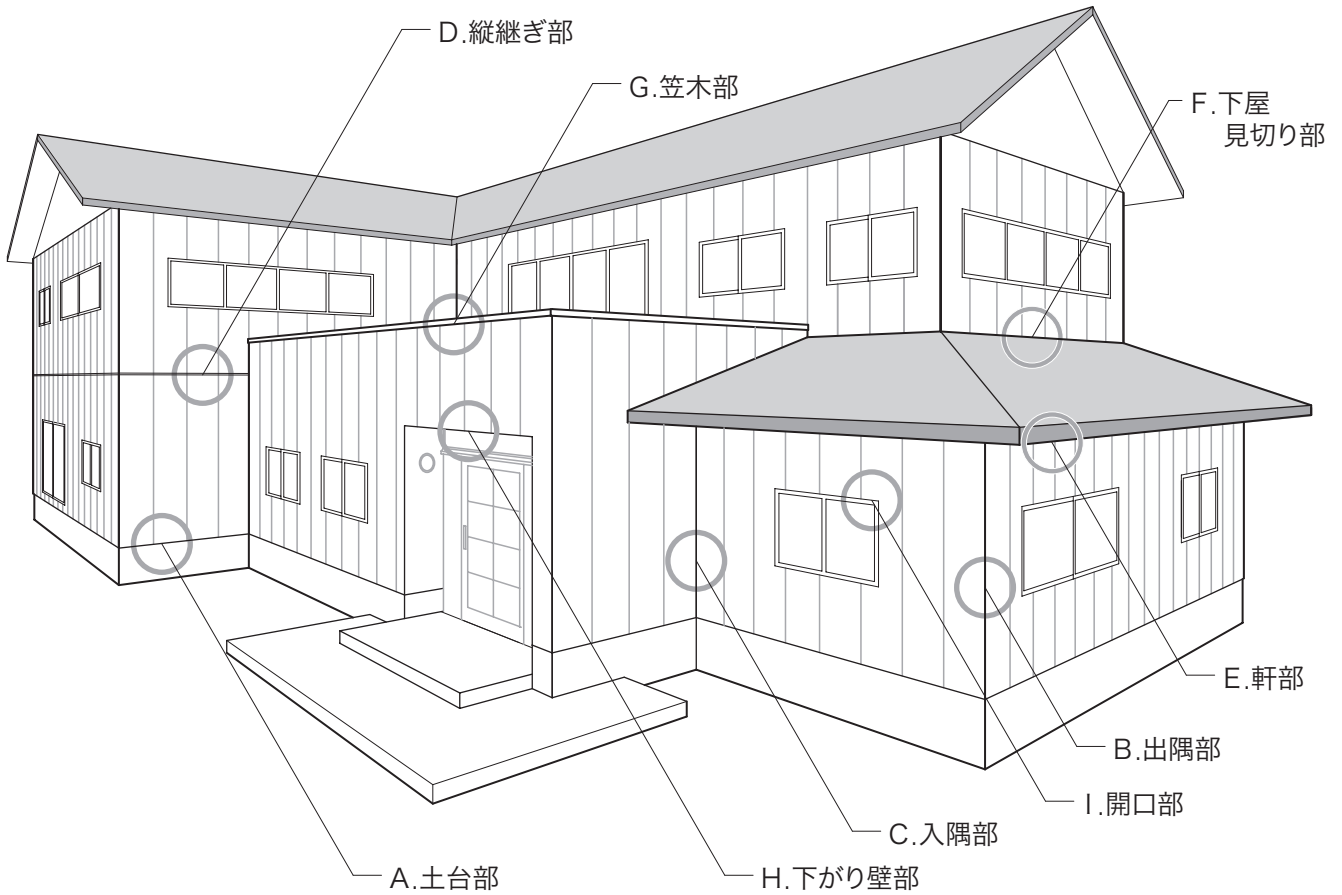


2) 補強材を使用する方法

- ・補強材は胴縁などの細長く、剛性が高く曲がりにくいものを使用してください。
- ・本体にキズが付ないように養生をした補強材を本体の表面鋼板にクロス素材の養生テープ(幅60mm以上)で貼り付けて運搬してください。運搬後、養生テープは慎重に剥がしてください。
- ・補強材は、面材などでも使用可能です。



5 各部位の納まり図



5 各部位の納まり図

納まり図		
A. 土台部	P25
B. 出隅部	P27
C. 入隅部	P28
D. 縦継ぎ部	P29
E. 軒部	P30
F. 下屋見切り部	P32
G. 笠木部	P33
H. 下がり壁部	P34
I. 開口部	P35

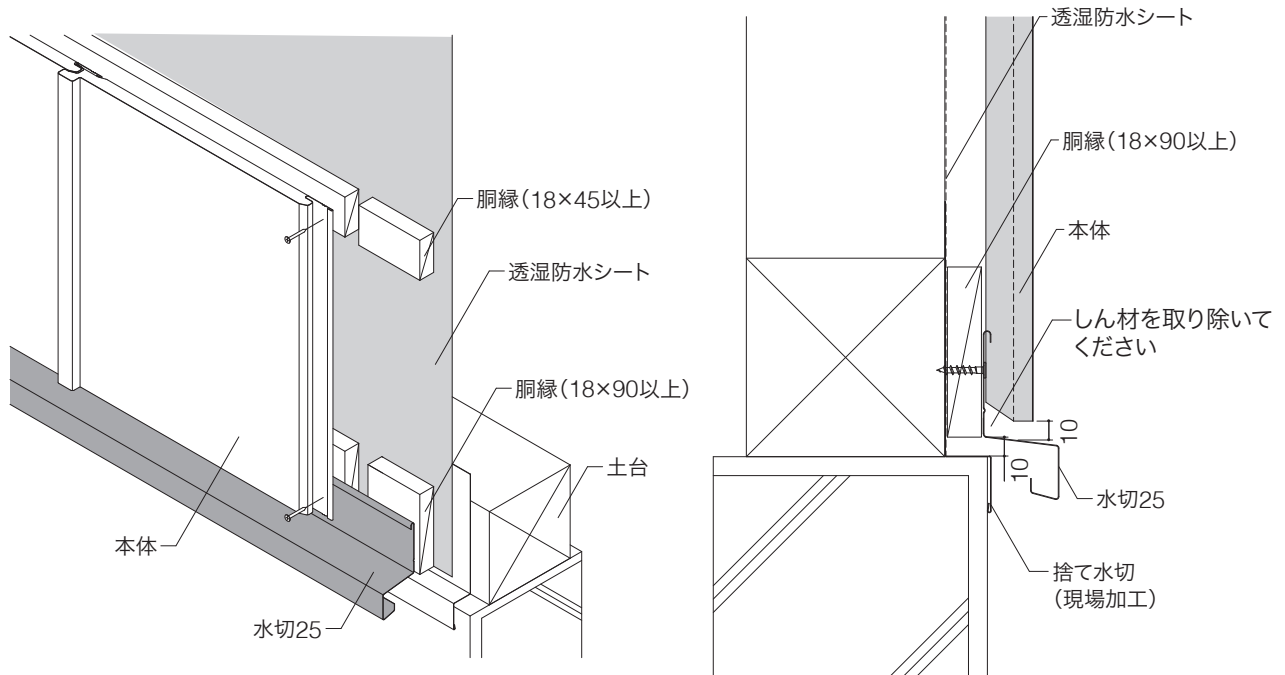
5. 各部位の納まり図

単位：mm

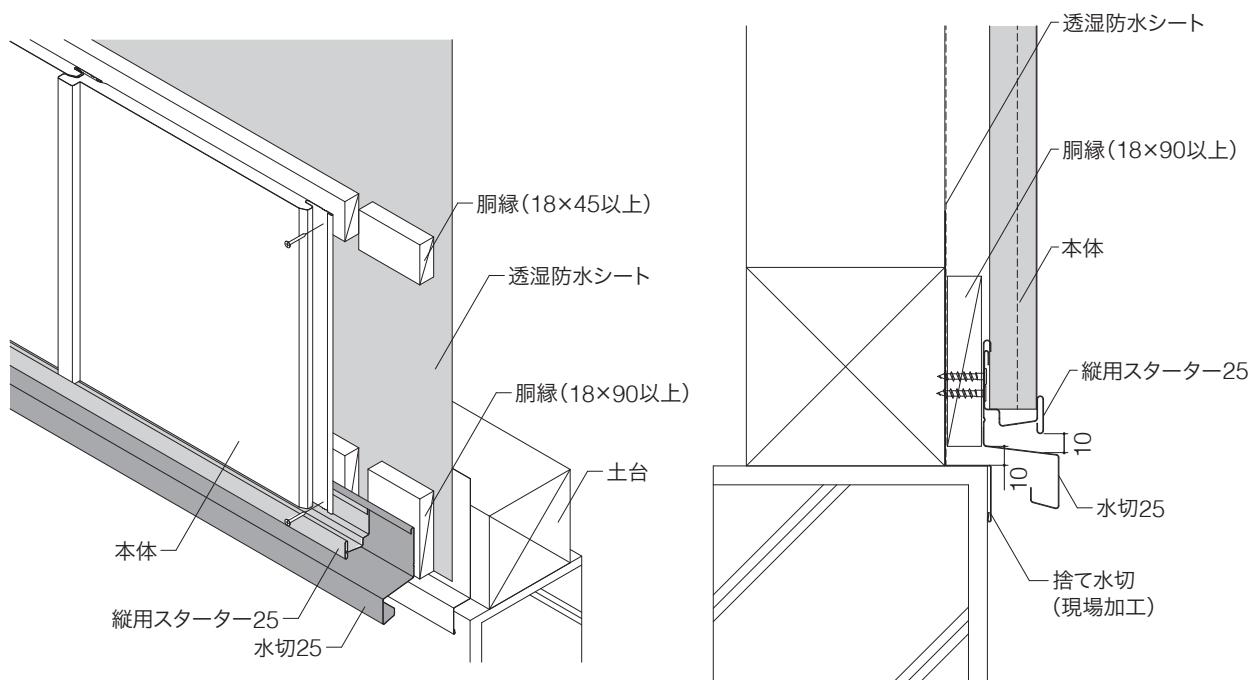
A. 土台部(1)

- ・ 本体または縦用スターター25の下端と水切25の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 本体の下端は、縦用スターター25の上に留め付けてください。
- ・ 積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。水切25の下に当て木などを入れるなどの対処をしてください。縦用スターター25は、雪の重みで変形するおそれがありますので、アルミ縦用スターター25の使用をお勧めします。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。

使用部材：水切25



使用部材：水切25・縦用スターター25



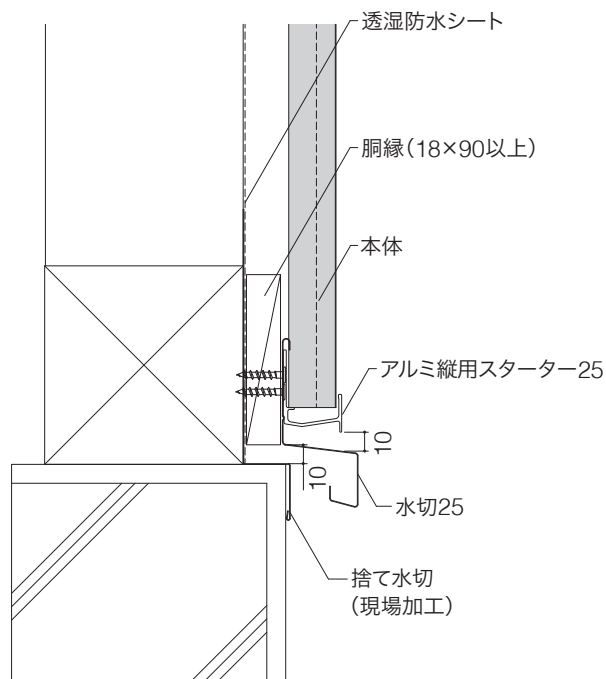
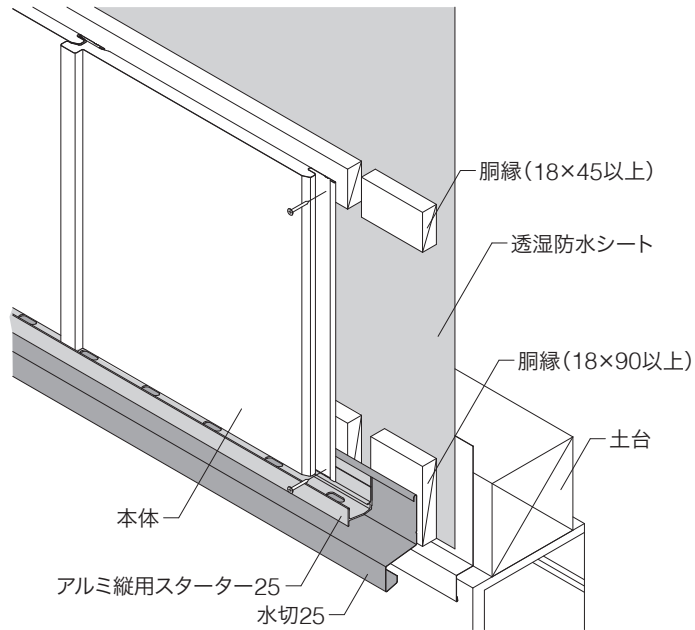
5. 各部位の納まり図

単位：mm

A. 土台部(2)

- ・ アルミ縦用スターター25の下端と水切25の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 本体の下端は、アルミ縦用スターター25の上に留め付けてください。
- ・ 積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。水切25の下に当て木などを入れるなどの対処をしてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、アルミ縦用スターター25内に入らないよう注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。

使用部材：水切25・アルミ縦用スターター25



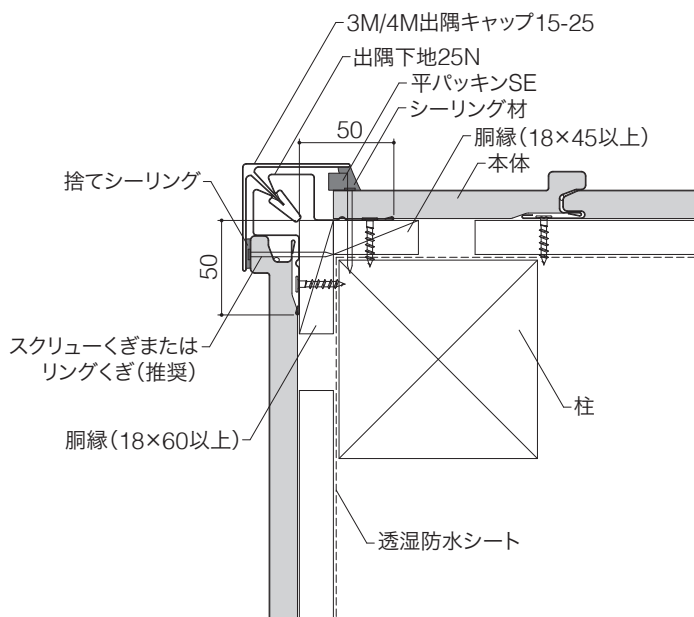
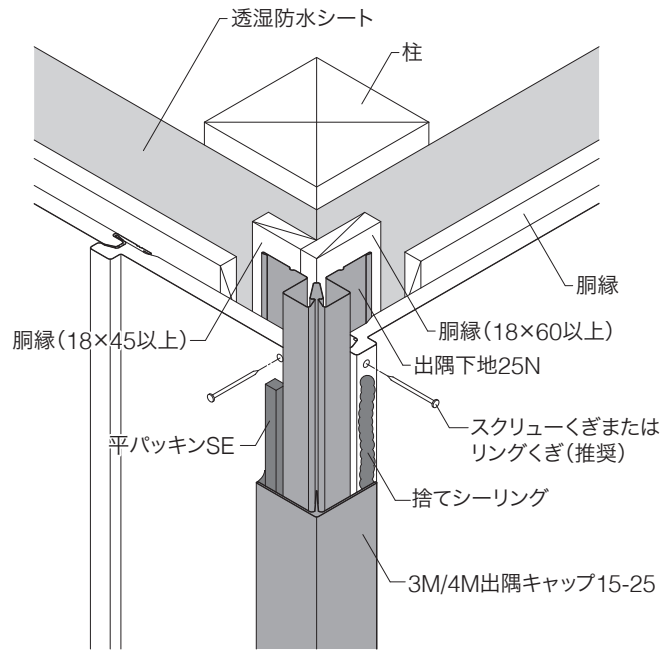
5

各部位の
納まり図

B. 出隅部

- ・ 出隅下地25Nは、ねじれたり沈み込んだりしないように胴縁の端部から50mmの箇所に墨出ししてから取り付けてください。
- ・ 本体の張り始めと張り終わりを留め付ける場合は、出隅下地25Nの端部から10mm以内に下穴をあけてから留め具（スクリューくぎまたはリングくぎ）で、直接下地に留め付けてください。
- ・ 本体凹部と部材が重なる箇所には、平パッキンSEを使用してください。
- ・ 3M/4M出隅キャップ15-25は、出隅下地25Nに確実にはめてください。完全にはまらないと脱落するおそれがあります。

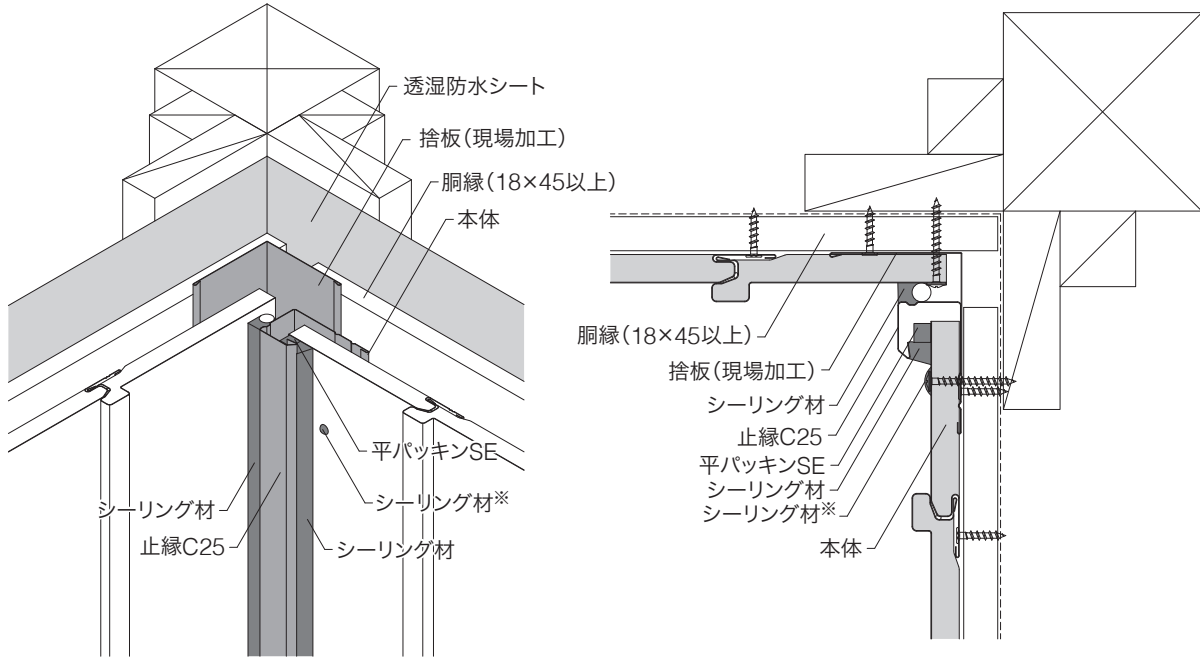
使用部材：3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地25N・平パッキンSE



C. 入隅部

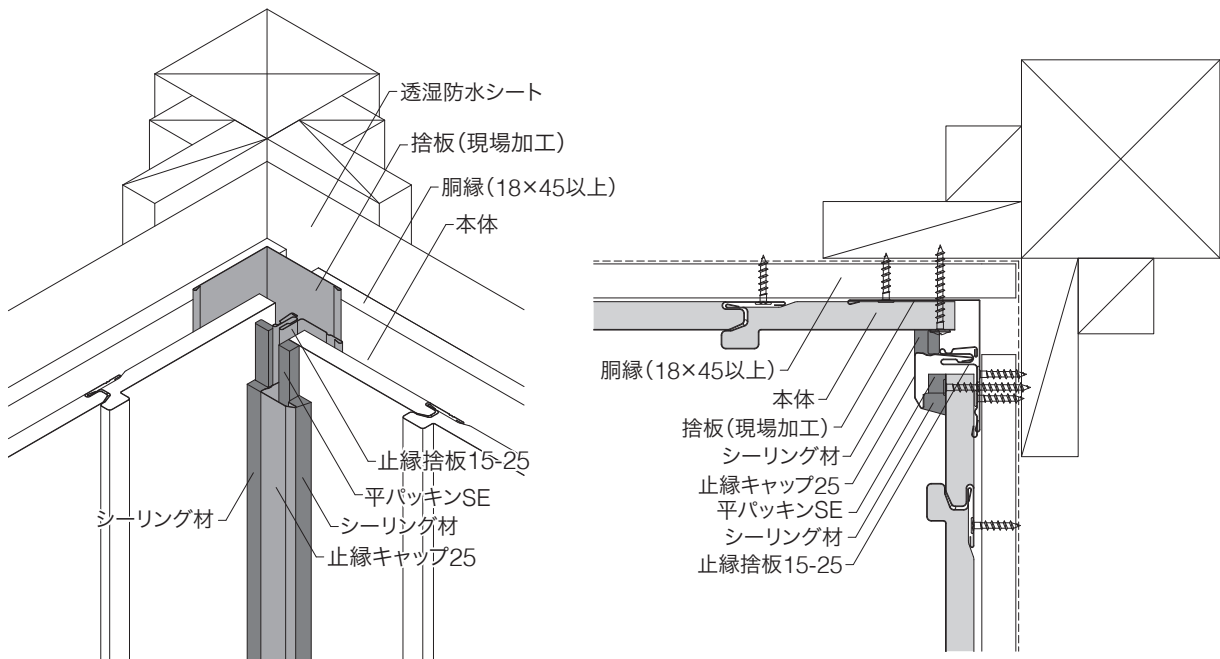
- ・ 本体凹部と部材が重なる箇所には、平パッキンSEを使用してください。
 - ・ 本体の端部は必ずくぎ（スクリューくぎまたはリングくぎ）または木ビスで、直接下地に留め付けてください。
- ※ 脳天打ちをしたくぎやビス頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：止縁C25・平パッキンSE



5
各部位の
納まり図

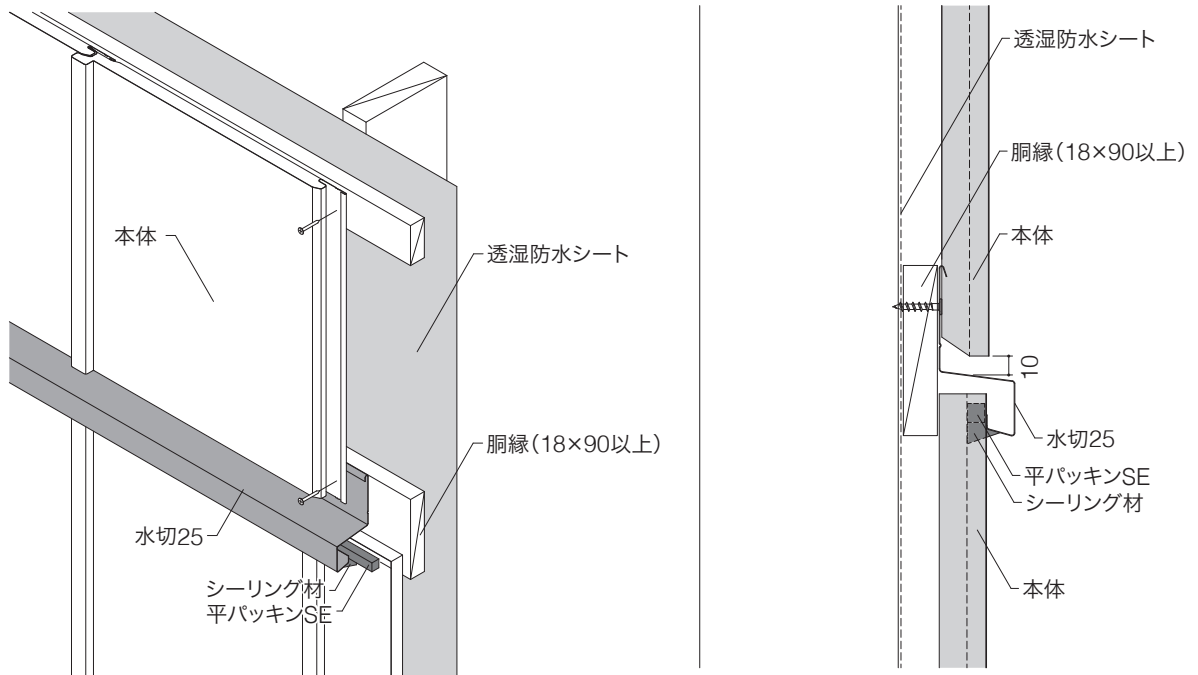
使用部材：止縁キャップ25・止縁捨板15-25・平パッキンSE



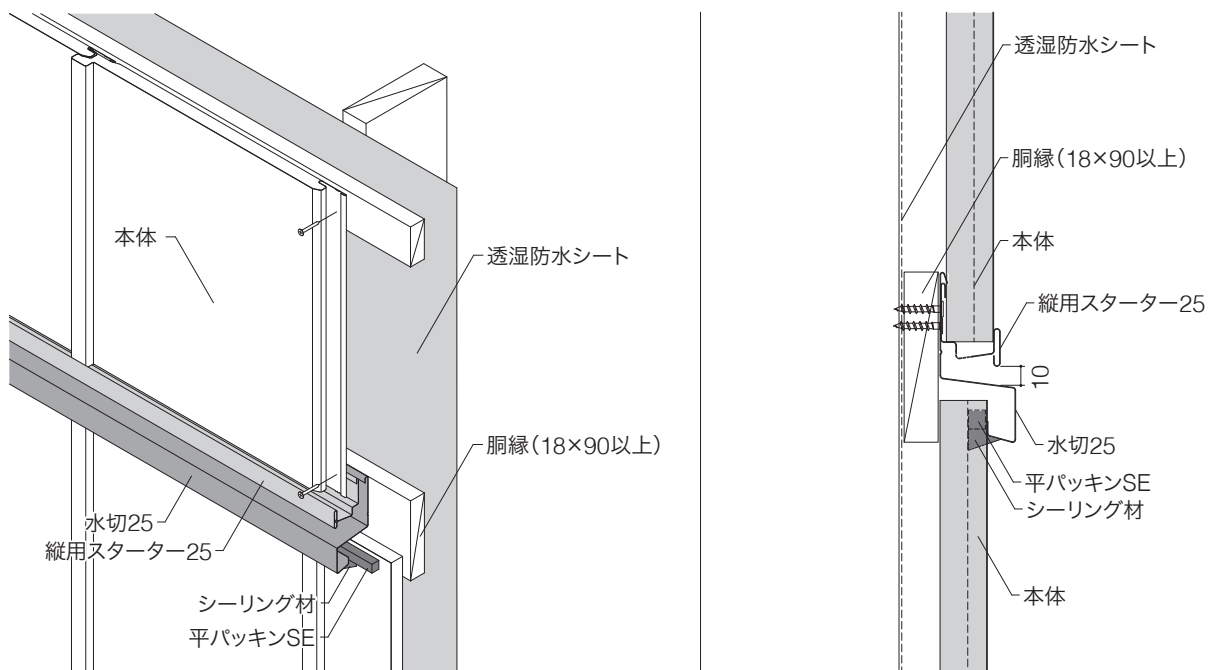
D. 縦継ぎ部

- ・ 本体の下端と水切25の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 本体の下端は、縦用スターター25の上に留め付けてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。
- ・ 縦継ぎ部にアルミ縦用スターター25を使用すると、防耐火構造認定の対象外となります。

使用部材：水切25



使用部材：水切25・縦用スターター25



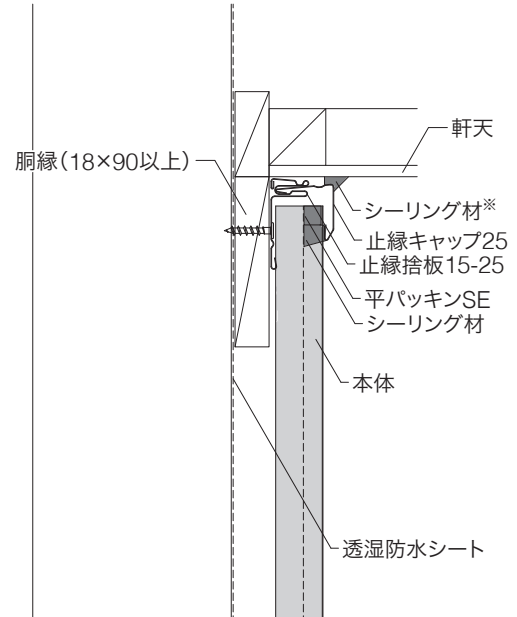
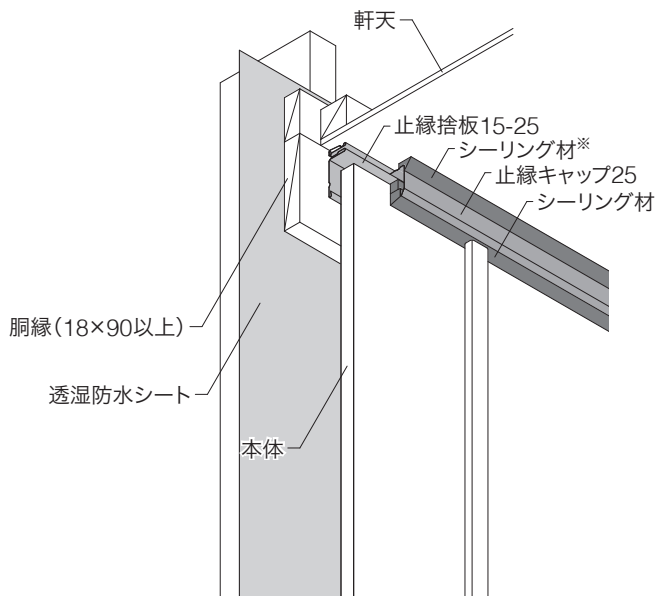
5. 各部位の納まり図

単位：mm

E. 軒部(1)

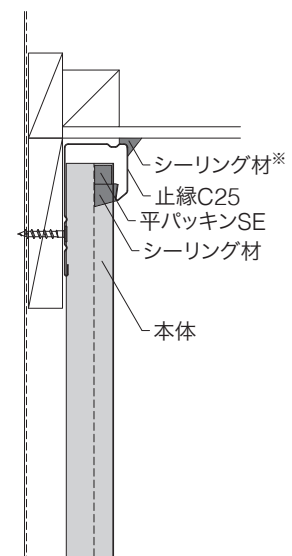
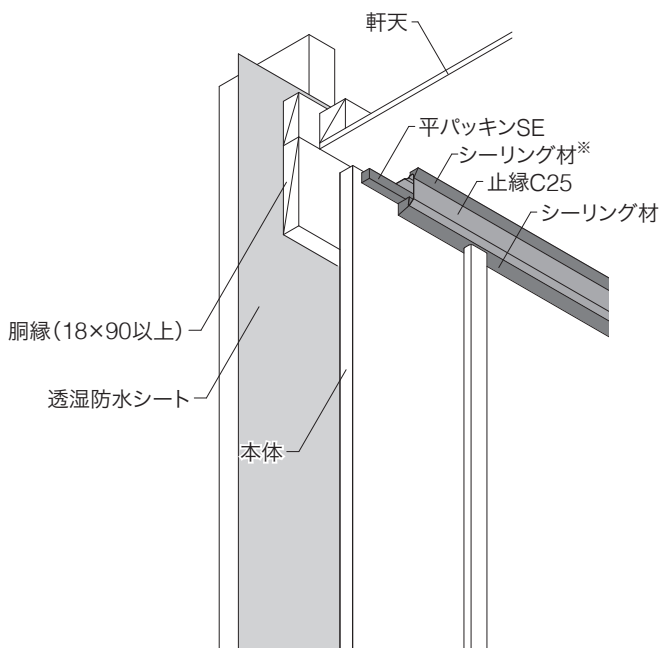
- ・隅角部や開口部との取り合いとの施工性を考慮し、止縁キャップ25・止縁捨板15-25の仕様を推奨します。
 - ・軒裏や小屋裏への通気経路を確保してください。軒裏や小屋裏への通気を行わない場合は、通気軒見切15-25を使用することで通気構法が可能となります。
 - ・本体に平パッキンSEを貼り付けてから、止縁C25に差し込んでください。
- ※軒の出が外壁表面から300mm以上の場合は、軒天と部材の間のシーリング材は無しも可。

使用部材：止縁キャップ25・止縁捨板15-25・平パッキンSE



5
各部位の
納まり図

使用部材：止縁C25・平パッキンSE



5. 各部位の納まり図

単位：mm

E. 軒部(2)

- ・軒ゼロ住宅に施工する場合の参考例です。
- ・軒裏45分準耐火構造の換気材として使う場合の構造仕様の詳細は、「日本住環境株式会社」のカタログをご確認ください。
- ※通気材とサイディング本体の取り合い部はシーリング材で防水してください。

通気材の参考例

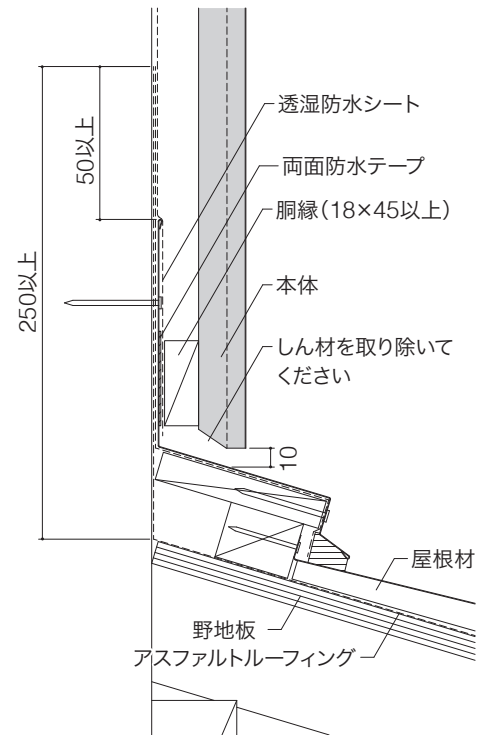
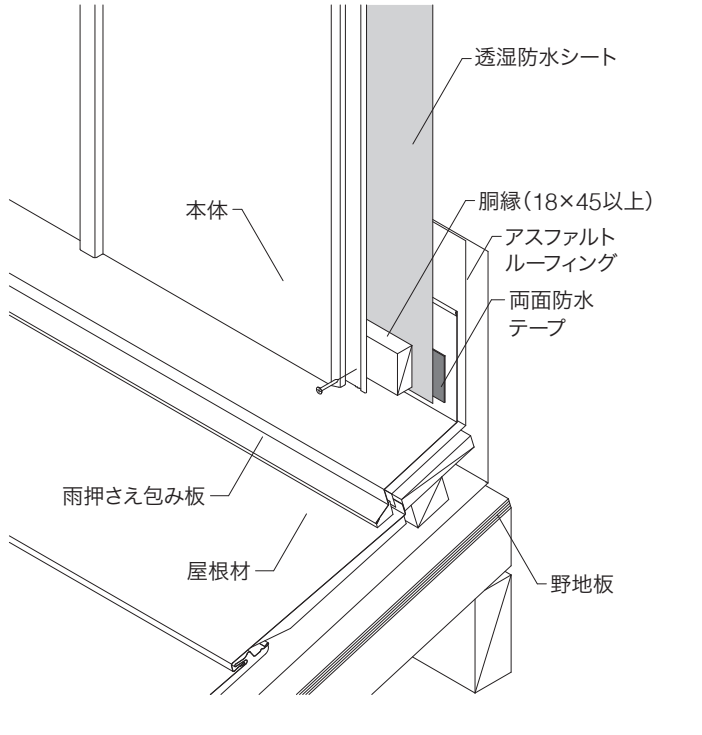
メーカー	日本住環境株式会社	
商品名	ep45軒ゼロSII	ep45軒ゼロSG
商品図		
防耐火認定	軒裏45分準耐火構造適合品	軒裏45分準耐火構造適合品

納まり図参考例

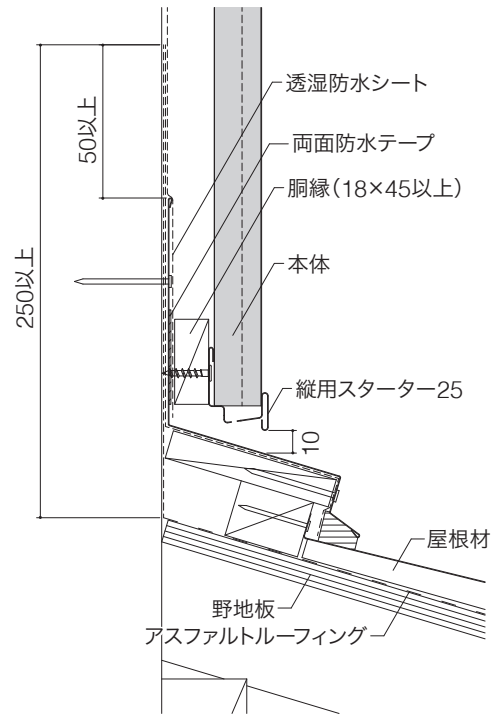
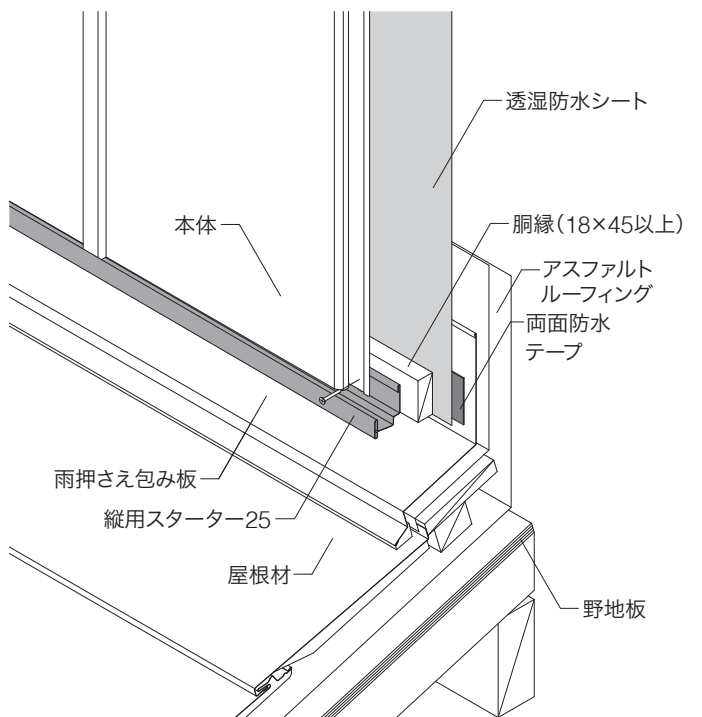
ep45軒ゼロSII	ep45軒ゼロSG

F. 下屋見切り部

- ・ 本体または縦用スターター25の下端と雨押さえ包み板の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 本体の下端は、縦用スターター25の上に留め付けてください。
- ・ 積雪の影響のある地域では、雪の重みにより縦用スターター25の変形のおそれがあるため、アルミ縦用スターター25の使用をお勧めします（P26参照）。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。



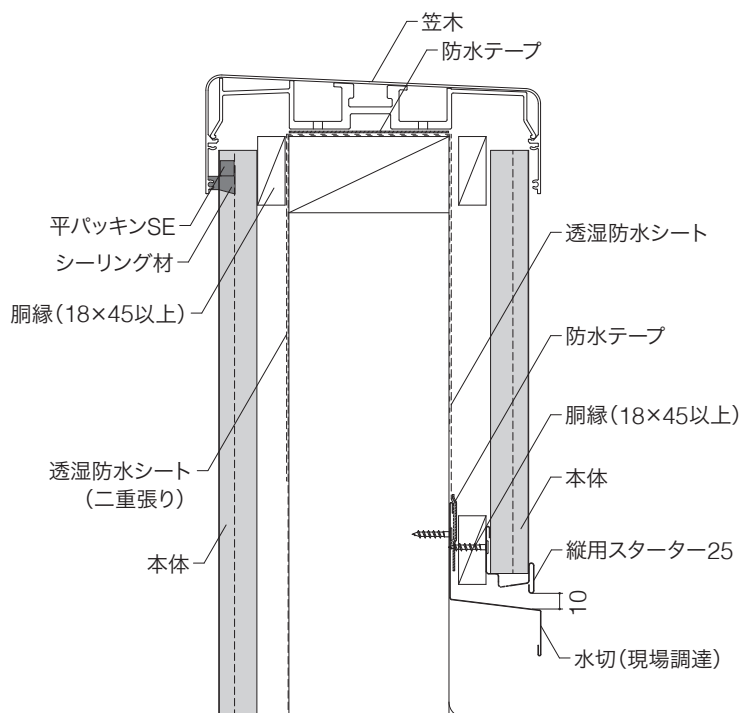
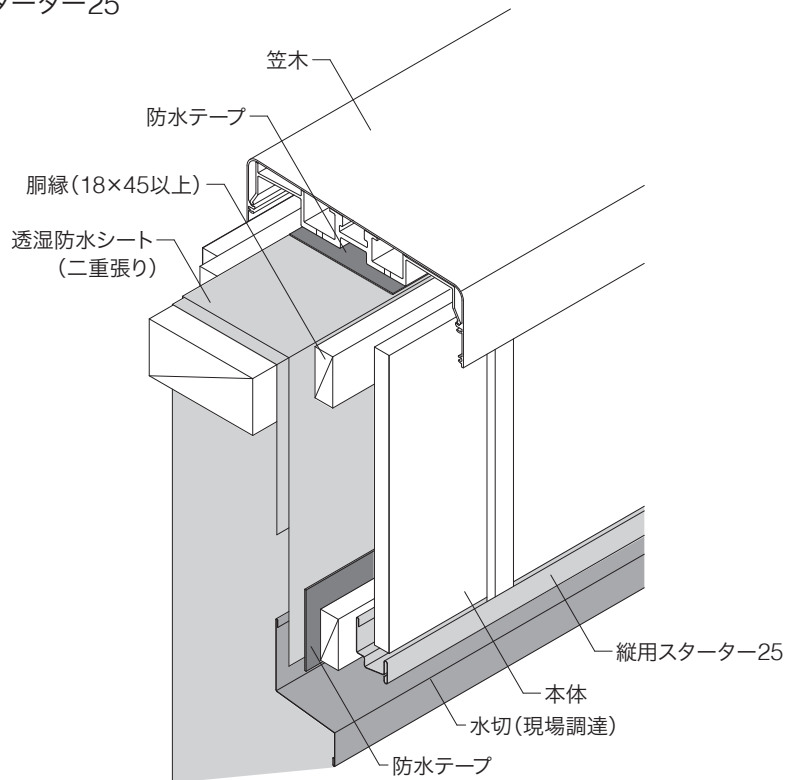
使用部材：縦用スターター25



G. 笠木部

- ・防水上万全を期すため、透湿防水シートを二重張りにしてください。
- ・通気経路を確保してください。
- ・施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。
- ・積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処し、縦用スターター25を使用しない納め方としてください。

使用部材：縦用スターター25

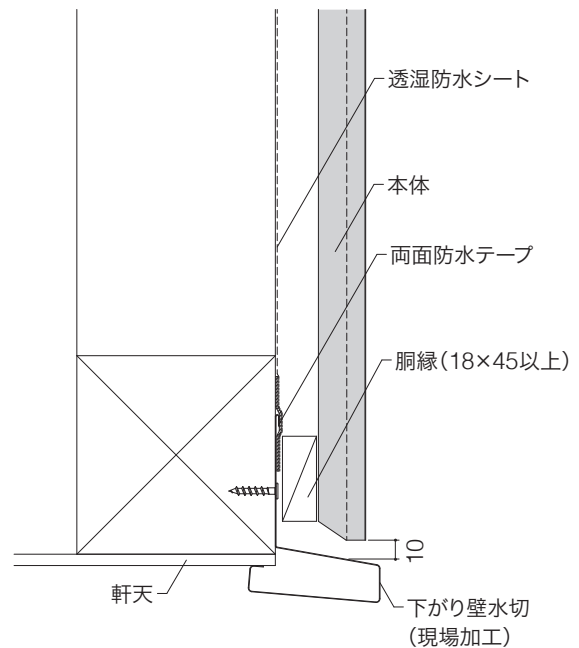
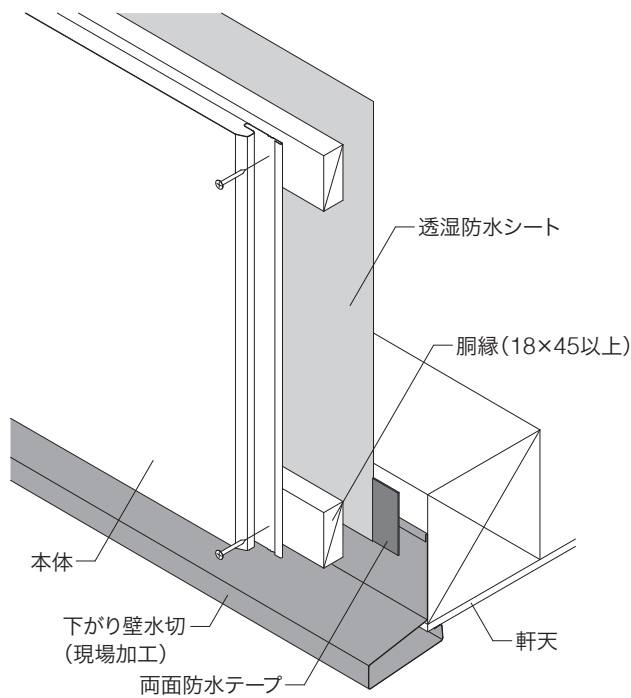


5. 各部位の納まり図

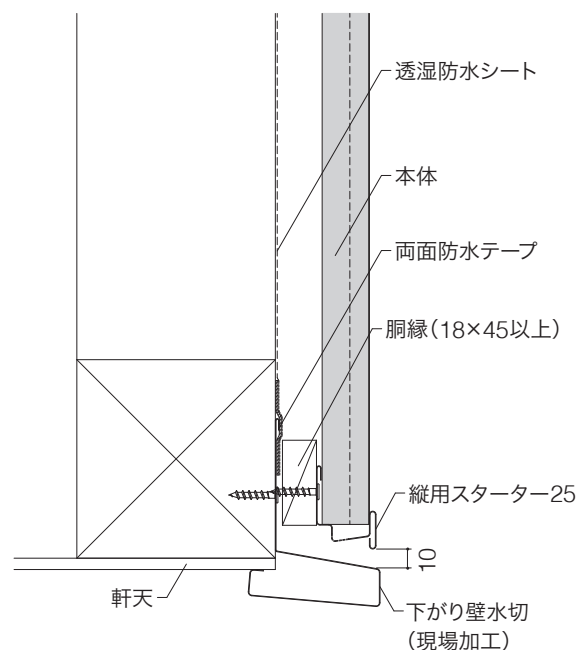
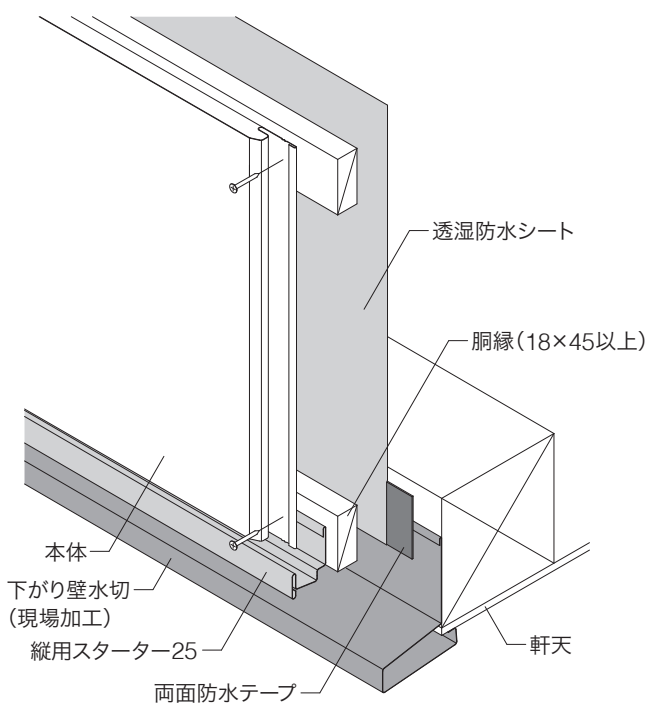
単位：mm

H. 下がり壁部

- ・ 本体または縦用スターター25の下端と下がり壁（現場調達）の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 本体の下端は、縦用スターター25の上に留め付けてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。



使用部材：縦用スターター25

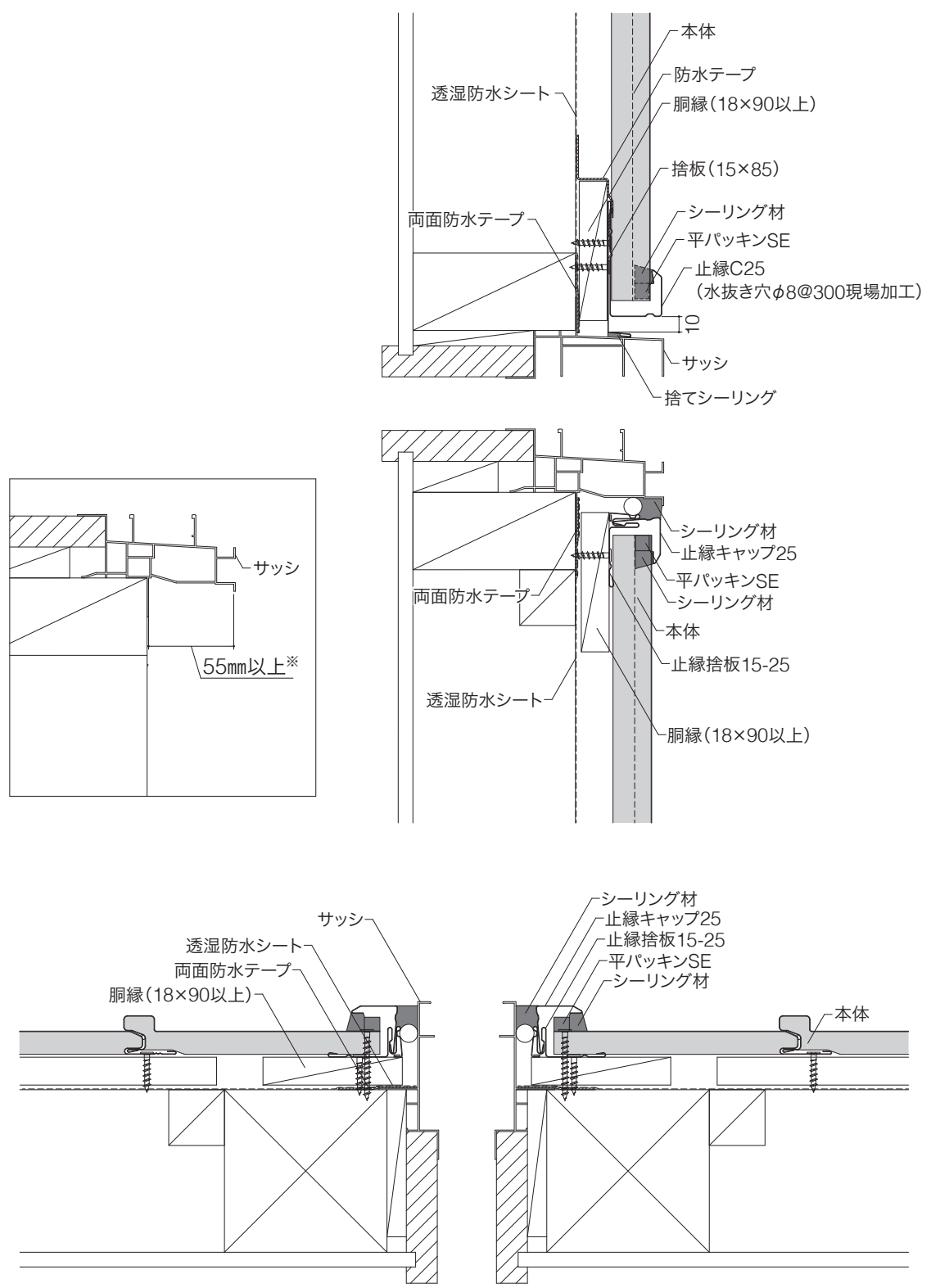


5
各部位の
納まり図

1. 開口部(1) 止縁キャップ25(2部材)仕様 [推奨]

- ・ 止縁C25をサッシ上部に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。
 - ・ 本体の端部は必ずくぎ（スクリューくぎまたはリングくぎ）または木ビスで、直接下地に留め付けてください。
- ※下地表面からサッシの出幅が55mm以上のサッシを使用してください。

使用部材：止縁C25・止縁キャップ25・止縁捨板15-25・平パッキンSE・捨板（15×85）



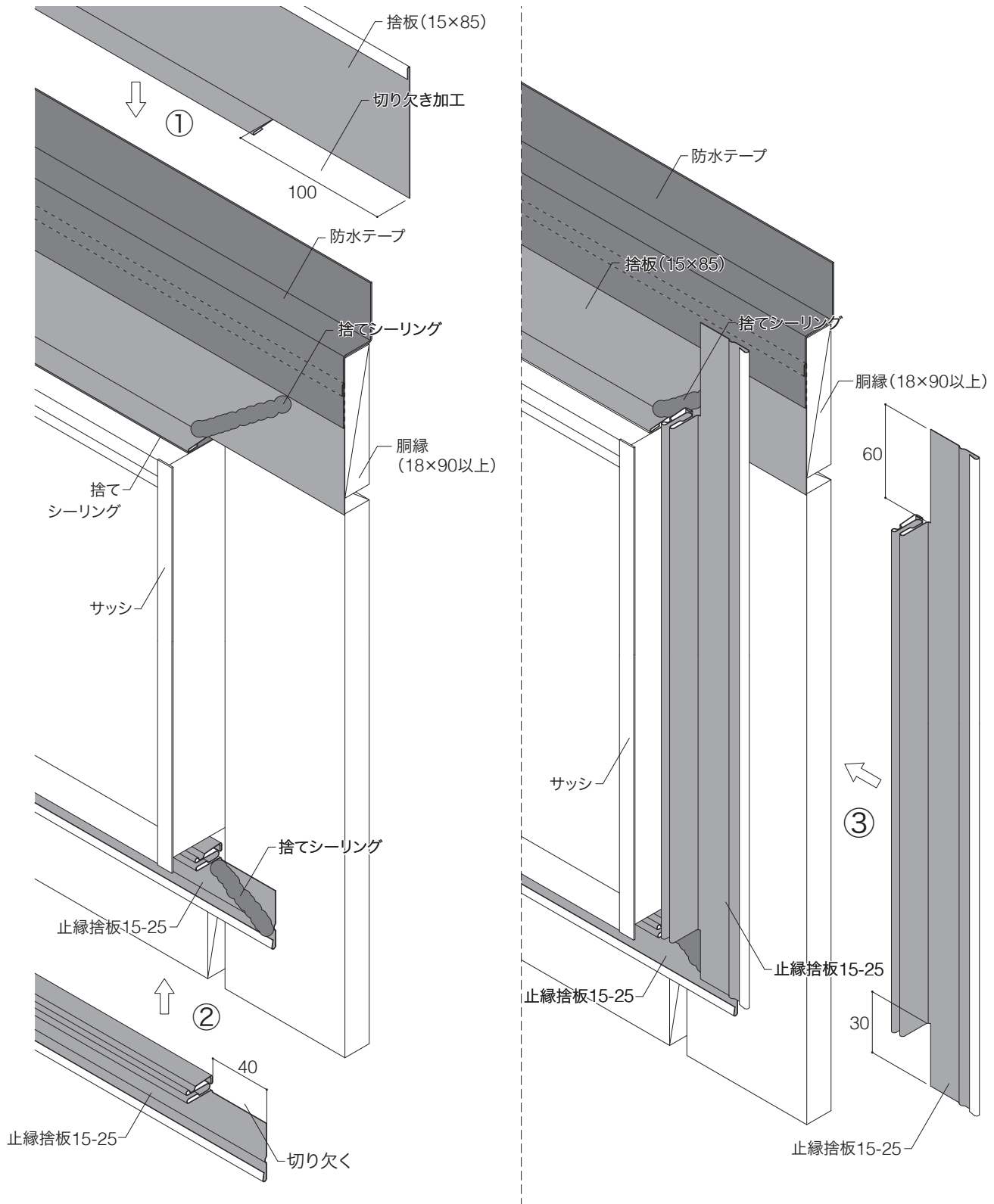
5. 各部位の納まり図

単位：mm

I. 開口部(1) 止縁キャップ25(2部材)仕様 [推奨] 隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ① 捨板 (15×85) とサッシの間には、捨てシーリングを施工してから取り付けてください。捨板 (15×85) の上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ② 開口部下に止縁捨板15-25を取り付けてください。
・各部材同士の重なり位置には捨てシーリングを施工してください。
- ③ 開口部左右に止縁捨板15-25を取り付けてください。

使用部材: 止縁C25・捨板 (15×85)・止縁キャップ25・止縁捨板15-25・平パッキンSE・ワンタッチコーナーキャップ15-25



5
各部位の
納まり図

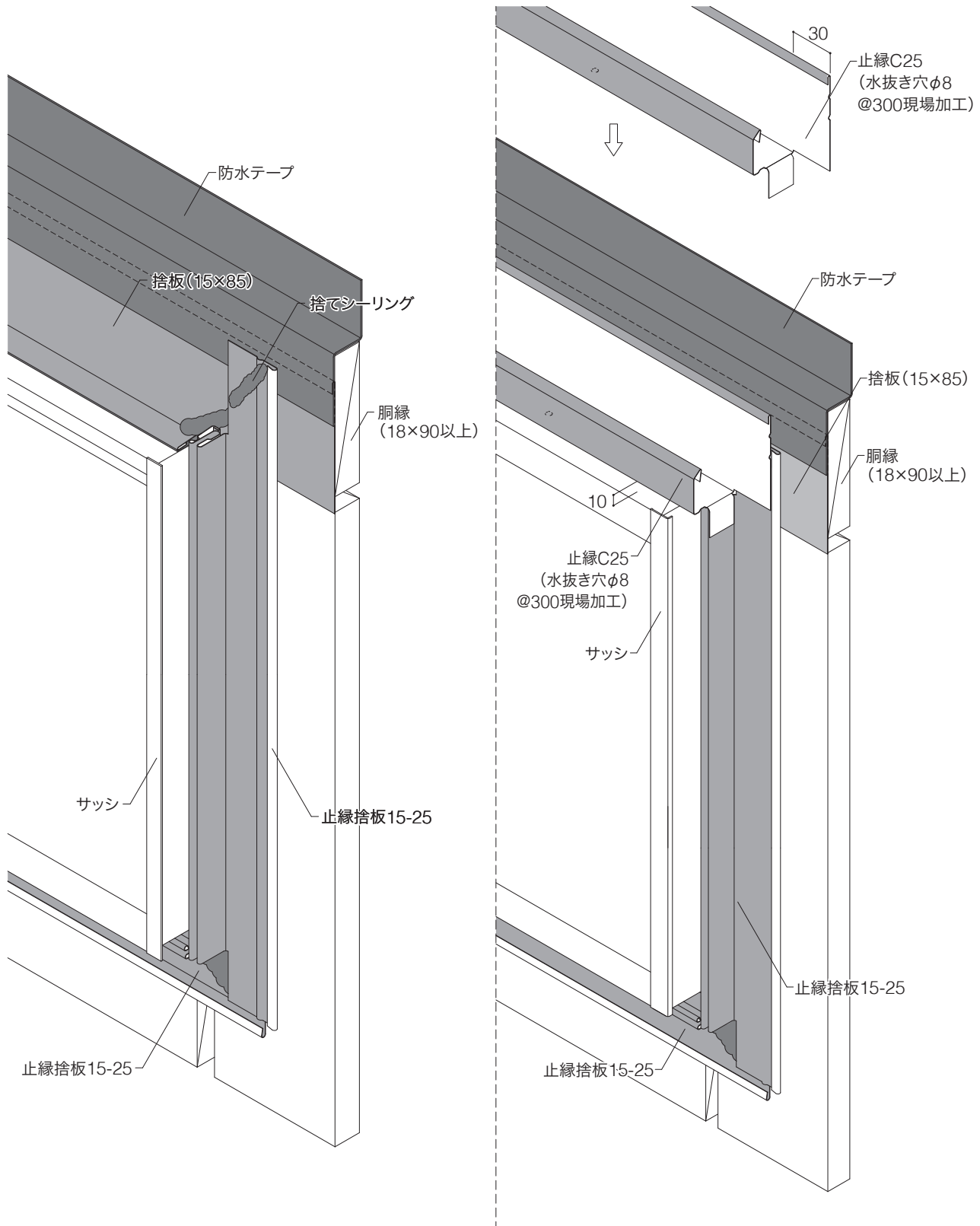
5. 各部位の納まり図

単位：mm

1. 開口部(1) 止縁キャップ25(2部材)仕様 [推奨] 隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・開口部上には、止縁C25（水抜き穴φ8@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・止縁キャップ25・止縁捨板15-25・平パッキンSE・ワンタッチコーナーキャップ15-25



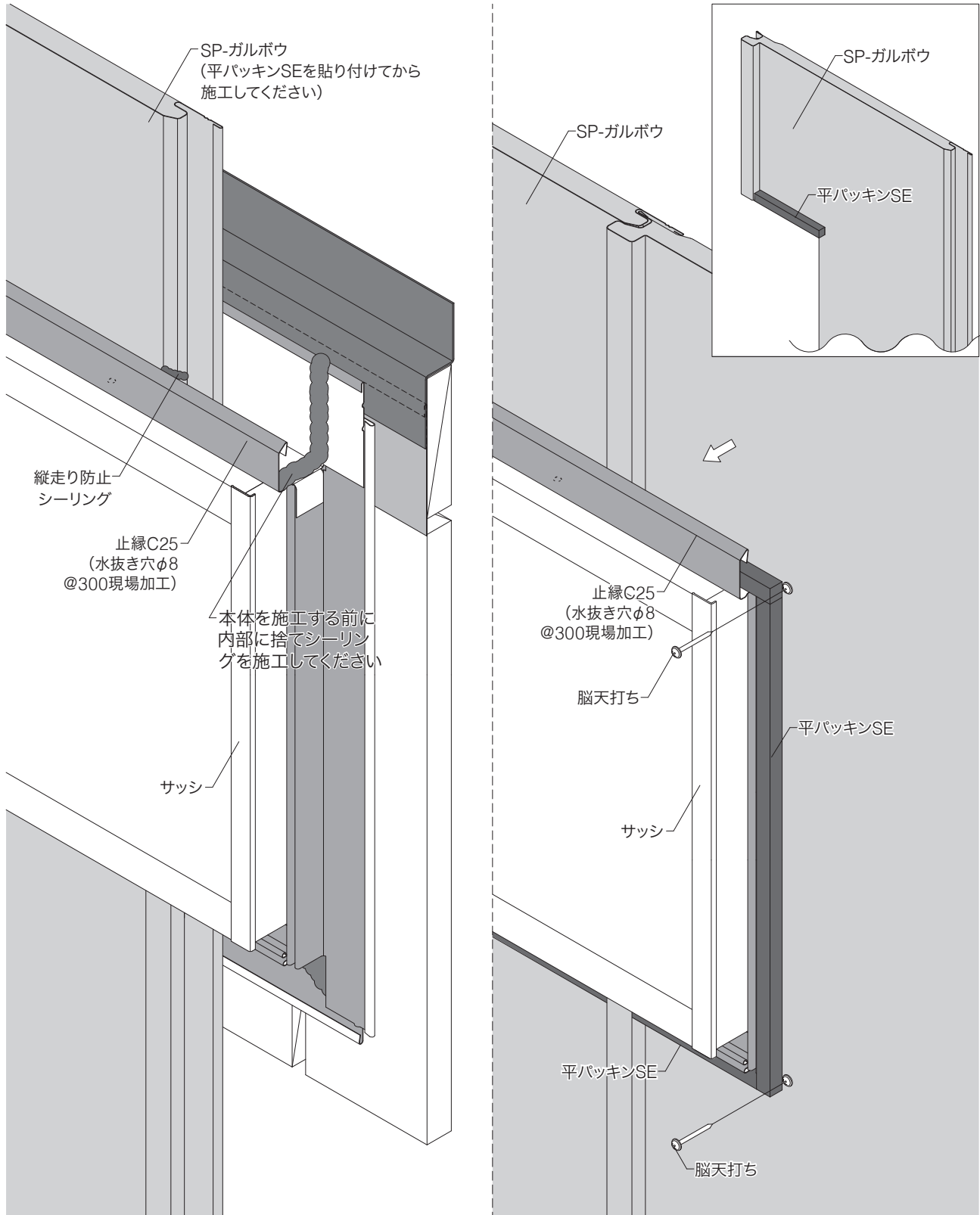
5. 各部位の納まり図

単位：mm

1. 開口部(1) 止縁キャップ25(2部材)仕様 [推奨] 隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・開口部上に施工する本体には、平パッキンSEを施工してから止縁C25に差し込んでください。
- ・本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)・止縁キャップ25・止縁捨板15-25・平パッキンSE・ワンタッチコーナーキャップ15-25

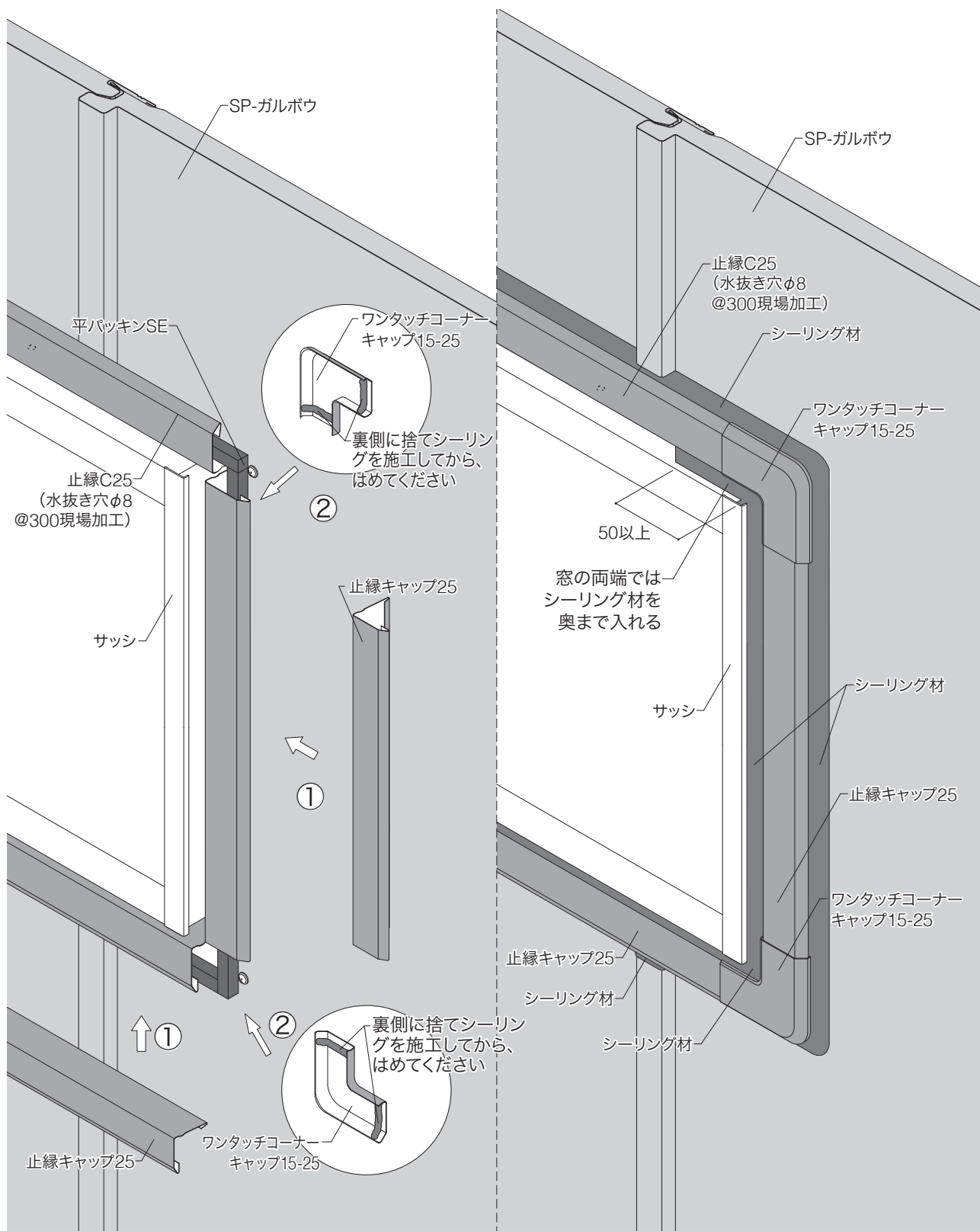


1. 開口部(1) 止縁キャップ25(2部材)仕様 [推奨] 隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・ 本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。

- ① 開口部左右および開口部下に、止縁キャップ25を施工してください。
- ② ワンタッチコーナーキャップ15-25に捨てシーリングを施工してから、はめてください。

使用部材：止縁C25・捨て板(15×85)・止縁キャップ25・止縁捨て板15-25・平パッキンSE・ワンタッチコーナーキャップ15-25



5. 各部位の納まり図

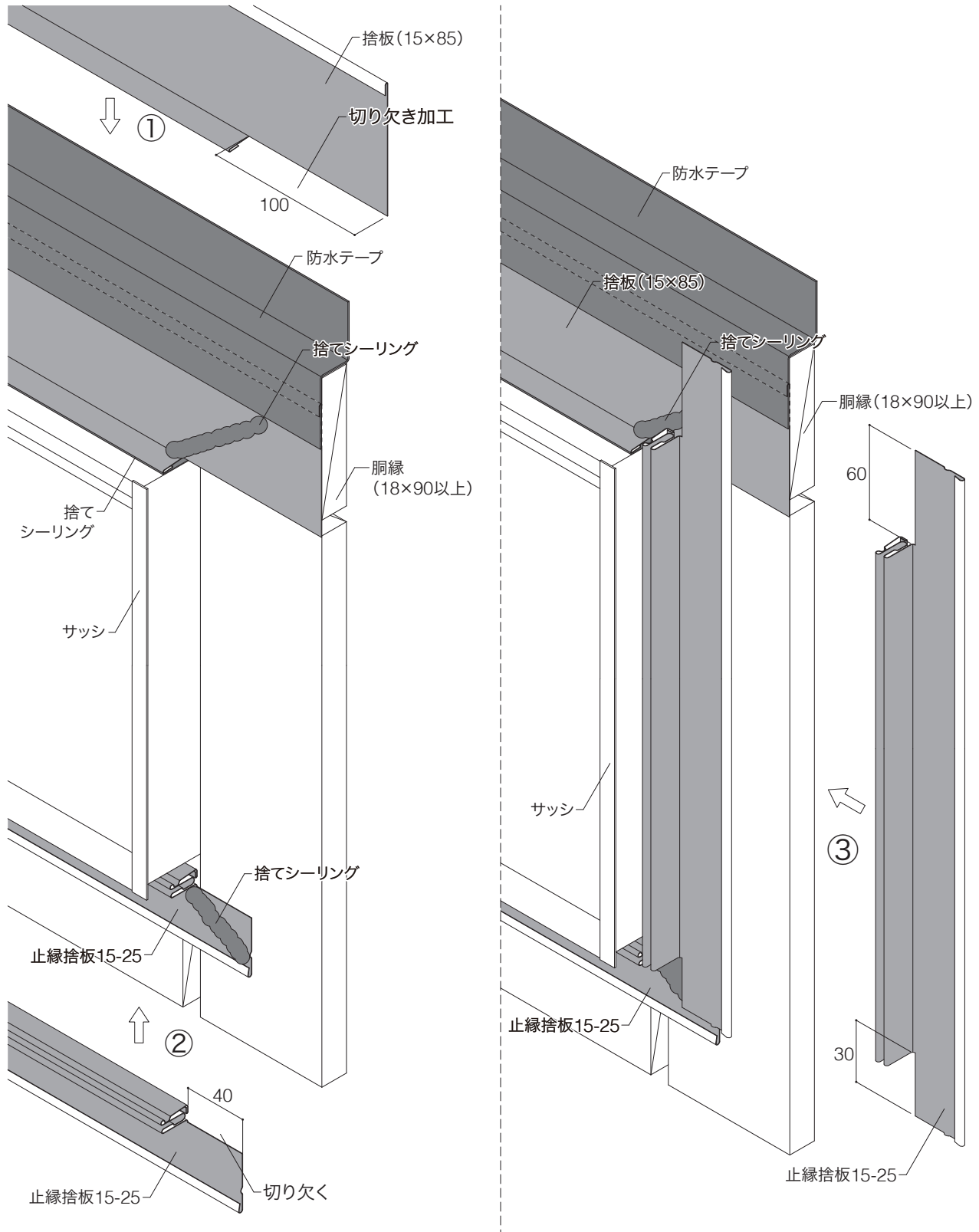
単位：mm

1. 開口部(1) 止縁キャップ25(2部材)仕様【推奨】

隅角部を加工する場合

- ① 捨板（15×85）とサッシの間には、捨てシーリングを施工してから取り付けてください。捨板（15×85）の上から防水テープを図の位置に施工してください。
 - ② 開口部下に止縁捨板15-25を取り付けてください。
 - ③ 開口部左右に止縁捨板15-25を取り付けてください。
- ・なお、各部材同士の重なり位置には捨てシーリングを施工してください。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・止縁キャップ25・止縁捨板15-25



5
各部位の
納まり図

5. 各部位の納まり図

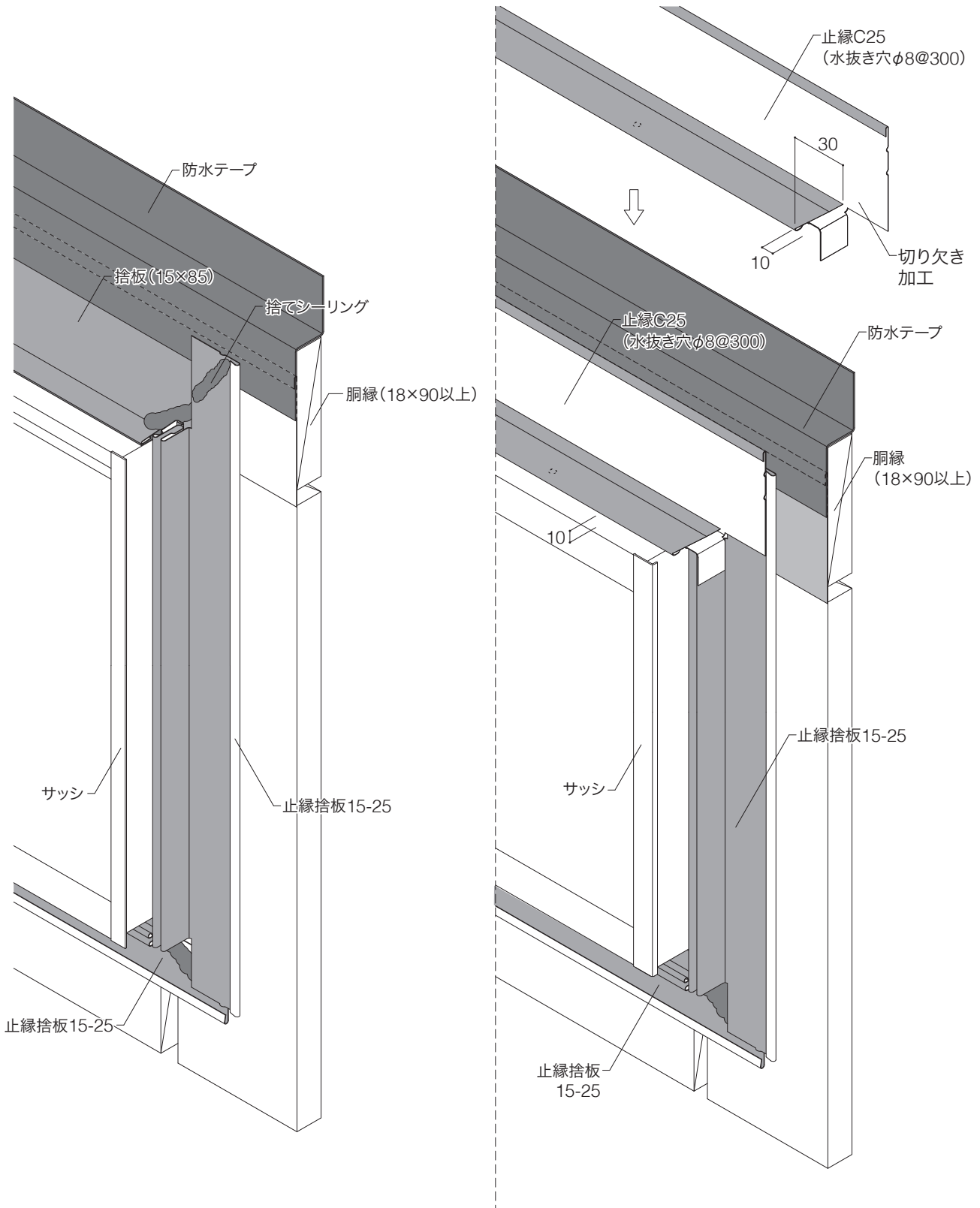
単位：mm

I. 開口部(1) 止縁キャップ25(2部材)仕様 [推奨]

隅角部を加工する場合

- ・開口部上には、小口カバー15または止縁C15（水抜き穴φ8@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・止縁キャップ25・止縁捨板15-25



5. 各部位の納まり図

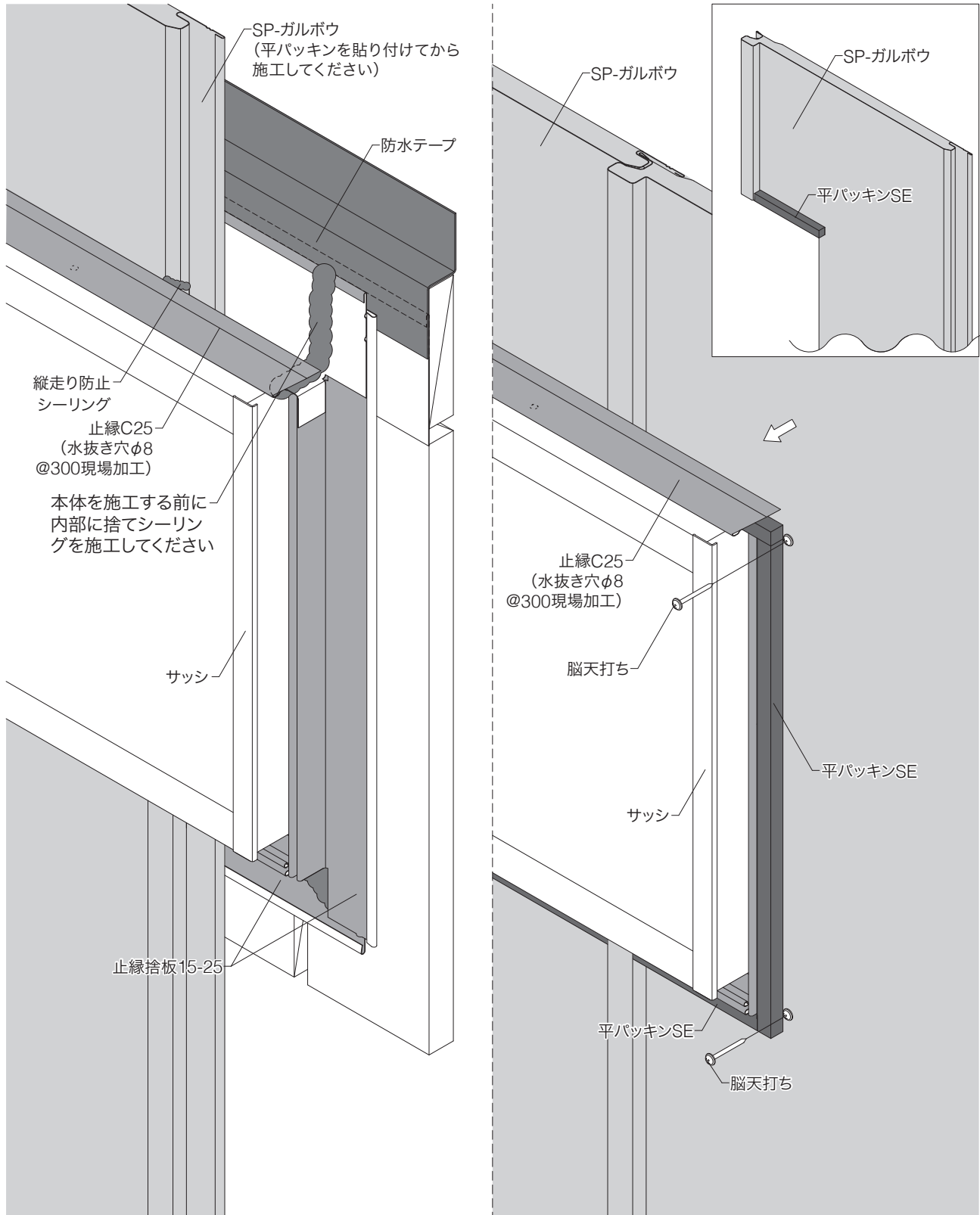
単位：mm

1. 開口部(1) 止縁キャップ25(2部材)仕様 [推奨]

隅角部を加工する場合

- ・開口部上に施工する本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・開口部上下左右に施工する本体には、平パッキンSEを貼り付けてください。
- ・本体を施工する前に止縁C25の内部に捨てシーリングを施工してください。
- ・脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・止縁キャップ25・止縁捨板15-25・平パッキンSE



5

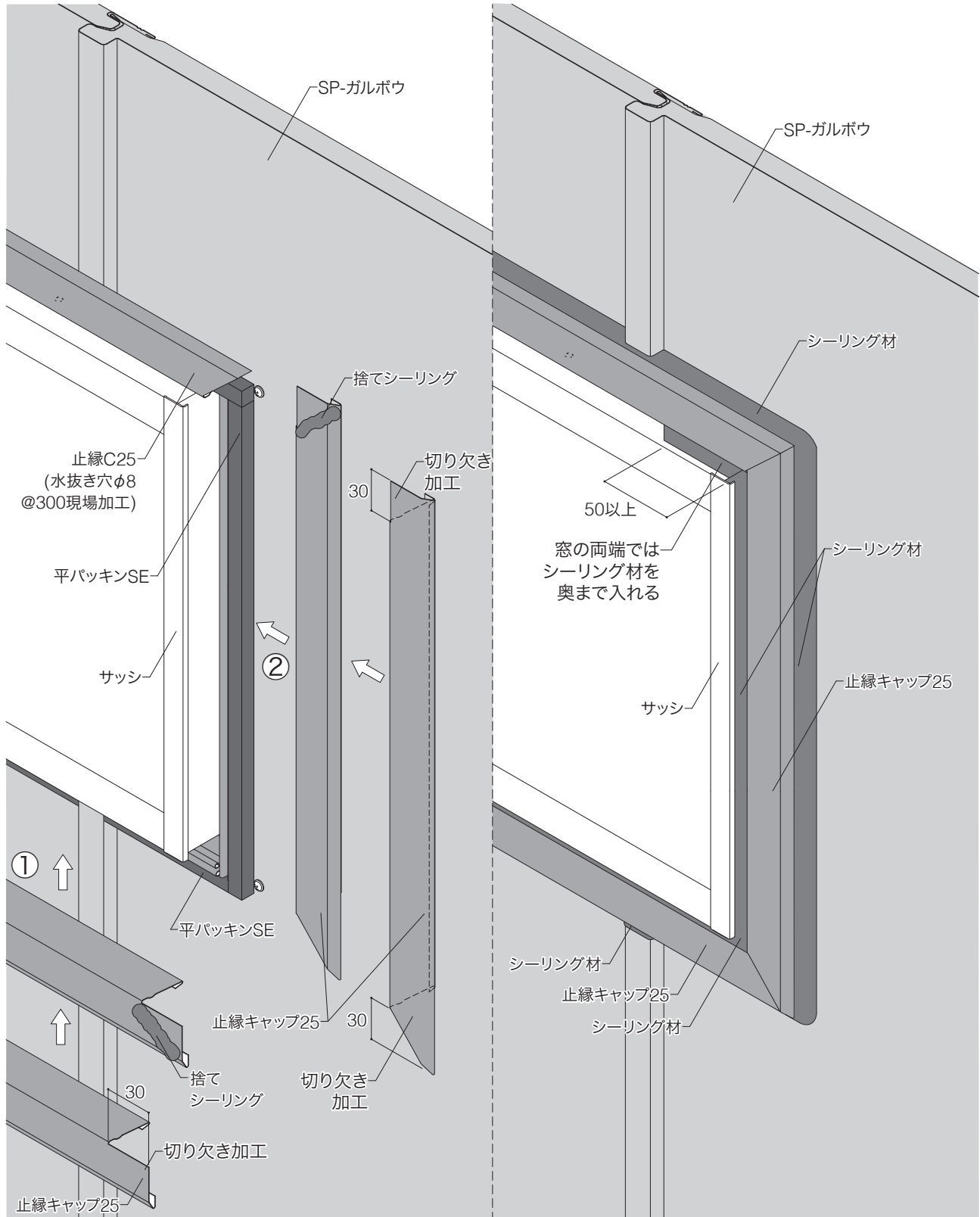
各部位の
納まり図

1. 開口部(1) 止縁キャップ25(2部材)仕様 [推奨]

隅角部を加工する場合

- ・開口部上では、止縁C25の下端とサッシの間に左右両端50mm程度のシーリング材を奥まで入れてください。
- ・脳天打ちをしたくぎやビス頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。
- ①開口部下に止縁キャップ25を施工してください。
- ②開口部左右止縁キャップ25を施工してください。

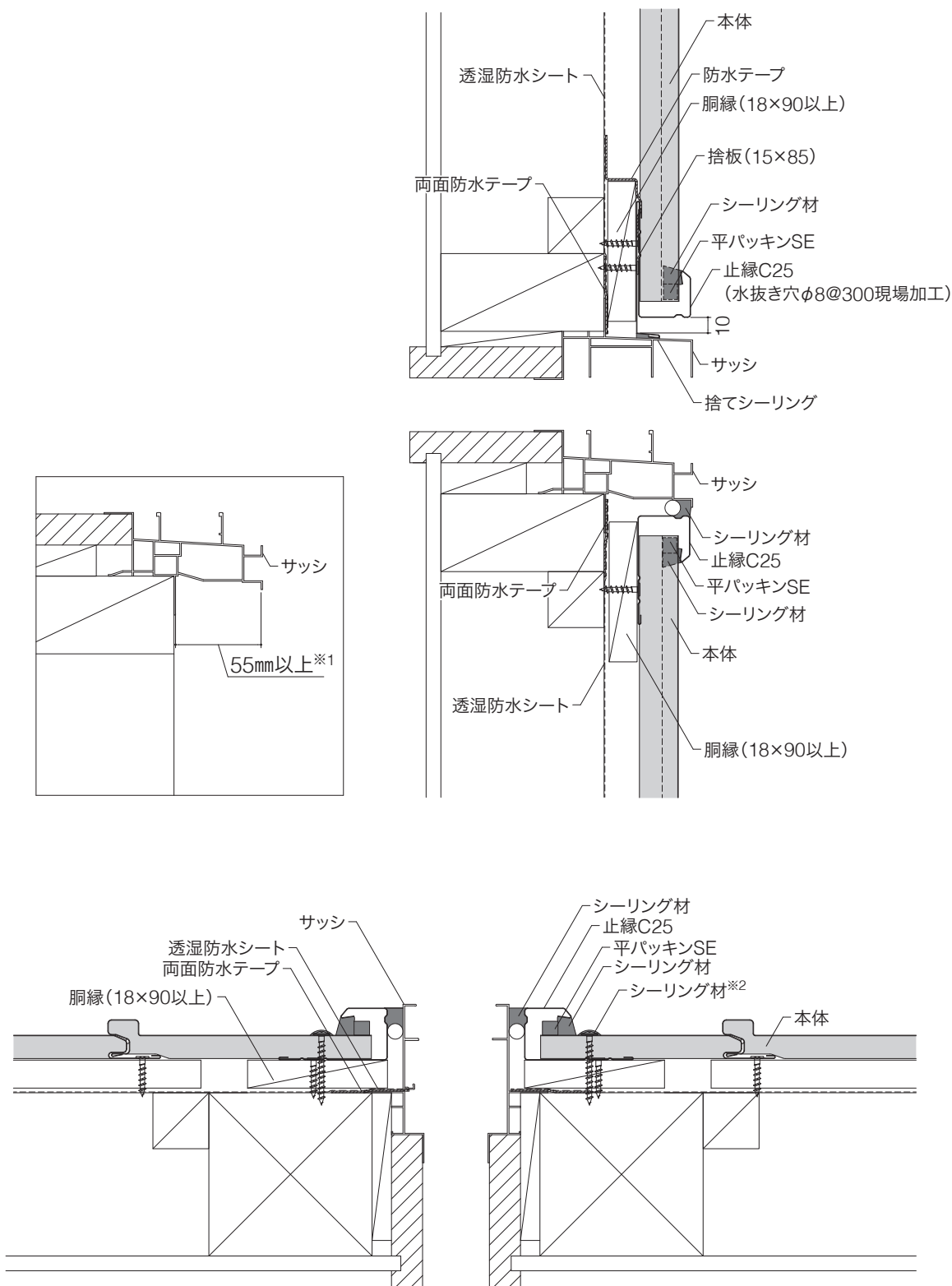
使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・止縁キャップ25・止縁捨板15-25・平パッキンSE



I. 開口部(2) 止縁C25(1部材)仕様

- ・ 止縁C25をサッシ上部に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。
- ※1 下地表面からサッシの出幅が55mm以上のサッシを使用してください。
- ※2 脳天打ちしたくぎやビス頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装をしてください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)・平パッキンSE



5. 各部位の納まり図

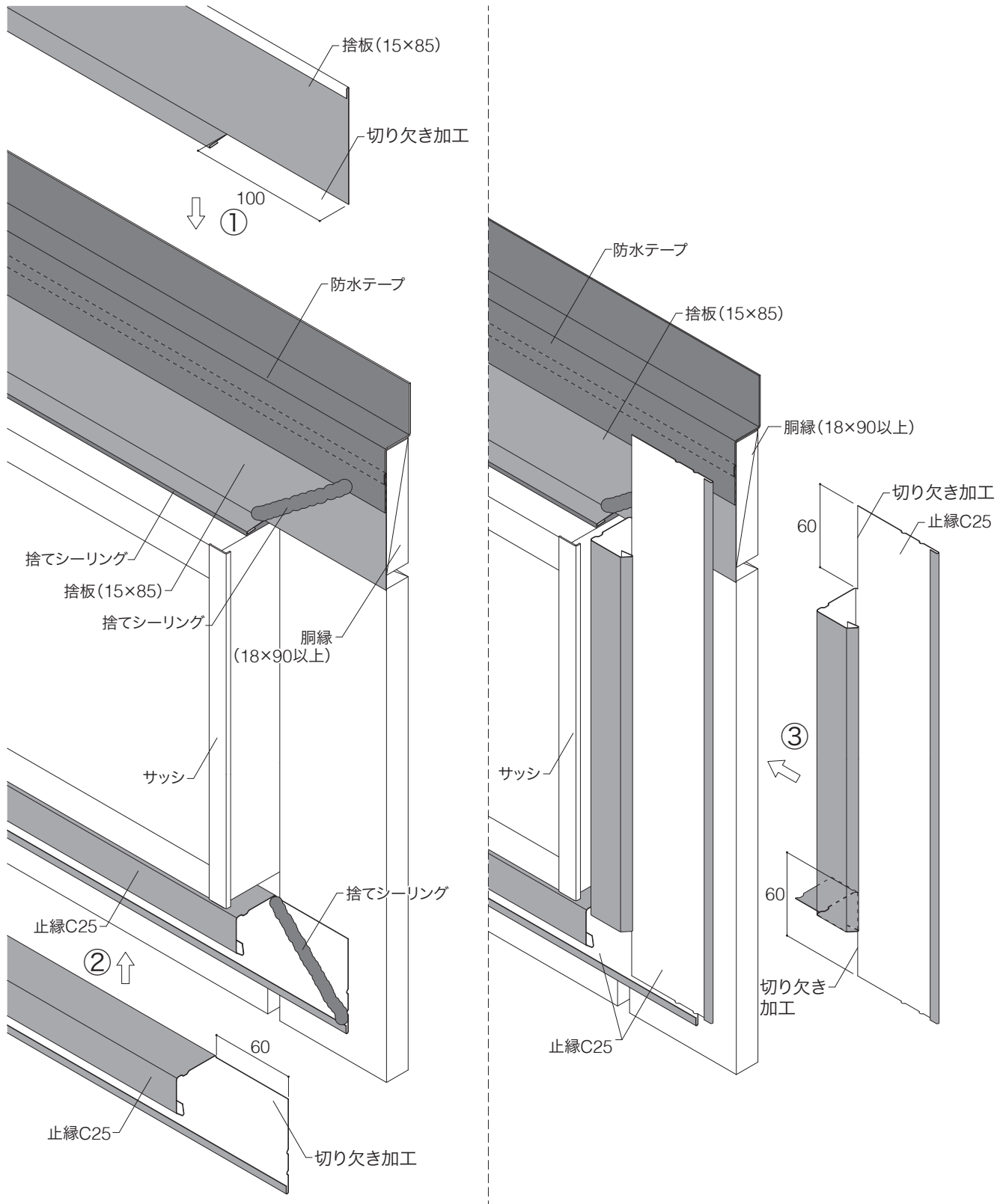
単位：mm

I. 開口部(2) 止縁C25(1部材)仕様

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ① 捨板（15×85）とサッシの間には、捨てシーリングを施工してから取り付けてください。捨板（15×85）の上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ② 開口部下、③開口部左右の順に止縁C25を取り付けてください。なお、各部材同士の重なり位置には捨てシーリングを施工してください。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・平パッキンSE・ワンタッチコーナーキャップ15-25



5. 各部位の納まり図

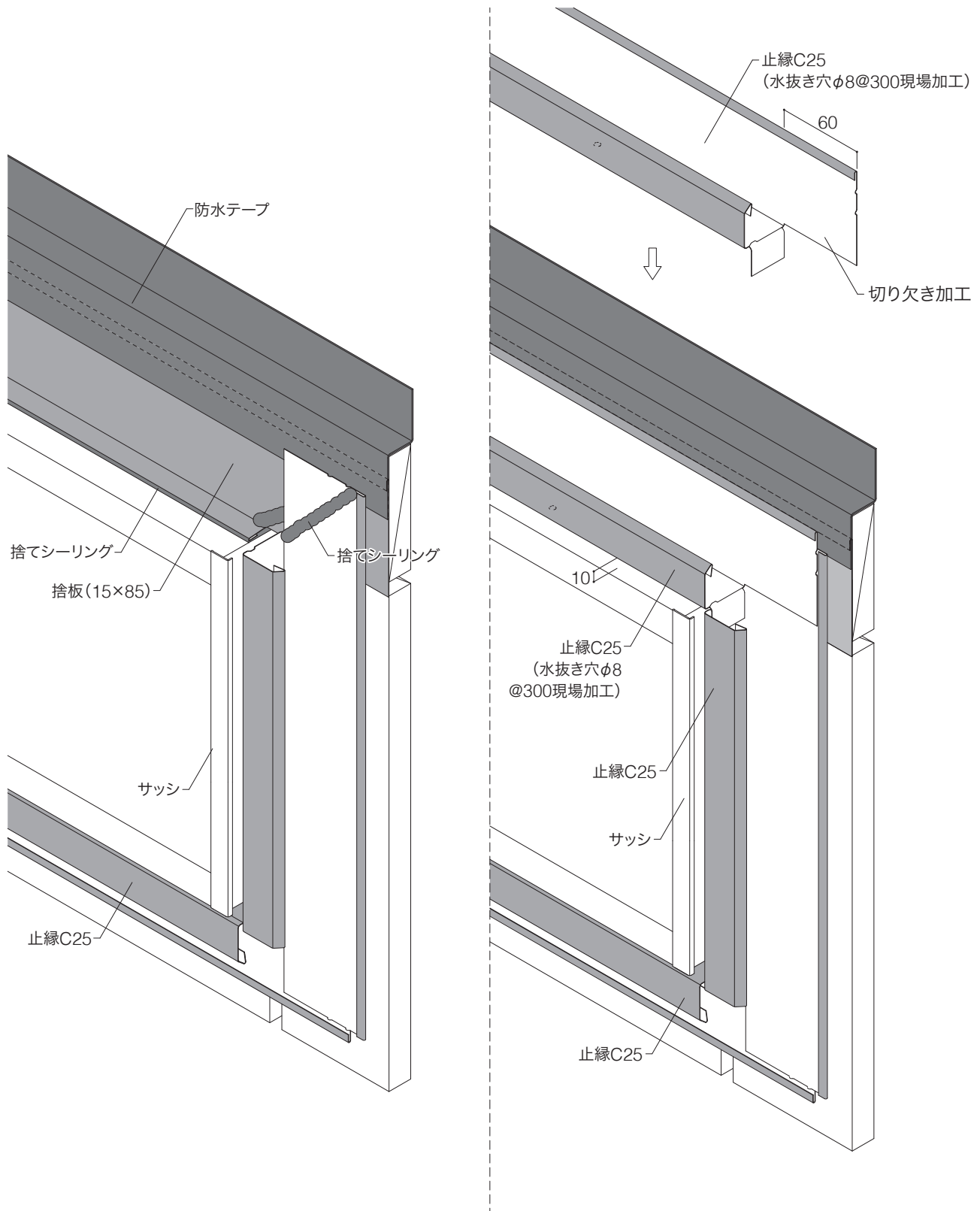
単位：mm

1. 開口部(2) 止縁C25(1部材)仕様

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・ 開口部左右に施工した止縁C25同士が重なる箇所は、捨てシーリングを施工してからと開口部上の止縁C25を施工してください。
- ・ 開口部上には、止縁C25（水抜き穴φ8@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：止縁C25・捨て板（15×85）・平パッキンSE・ワンタッチコーナーキャップ15-25



5

各部位の
納まり図

5. 各部位の納まり図

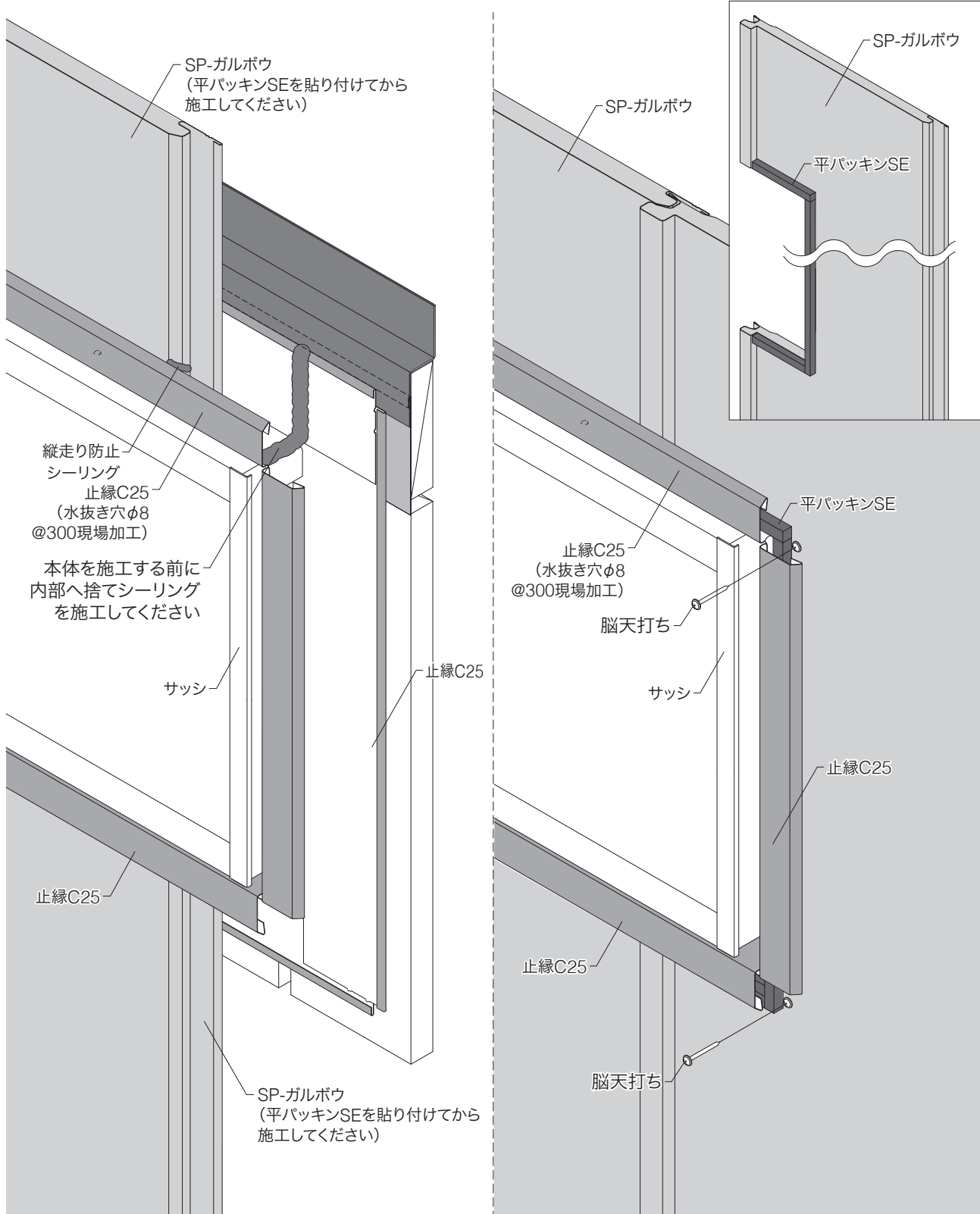
単位：mm

1. 開口部(2) 止縁C25(1部材)仕様

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・ 本体を施工する前に止縁C25の左右両端の内部には、捨てシーリングを施工してください。
- ・ 開口部上に施工する本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・ 開口部上下に施工する本体には、平パッキンSEを貼り付けてください。開口部左右に施工する本体凹部と部材が重なる場合も同様に平パッキンSEを貼り付けてから施工してください。
- ・ ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)・平パッキンSE・ワンタッチコーナーキャップ15-25



5. 各部位の納まり図

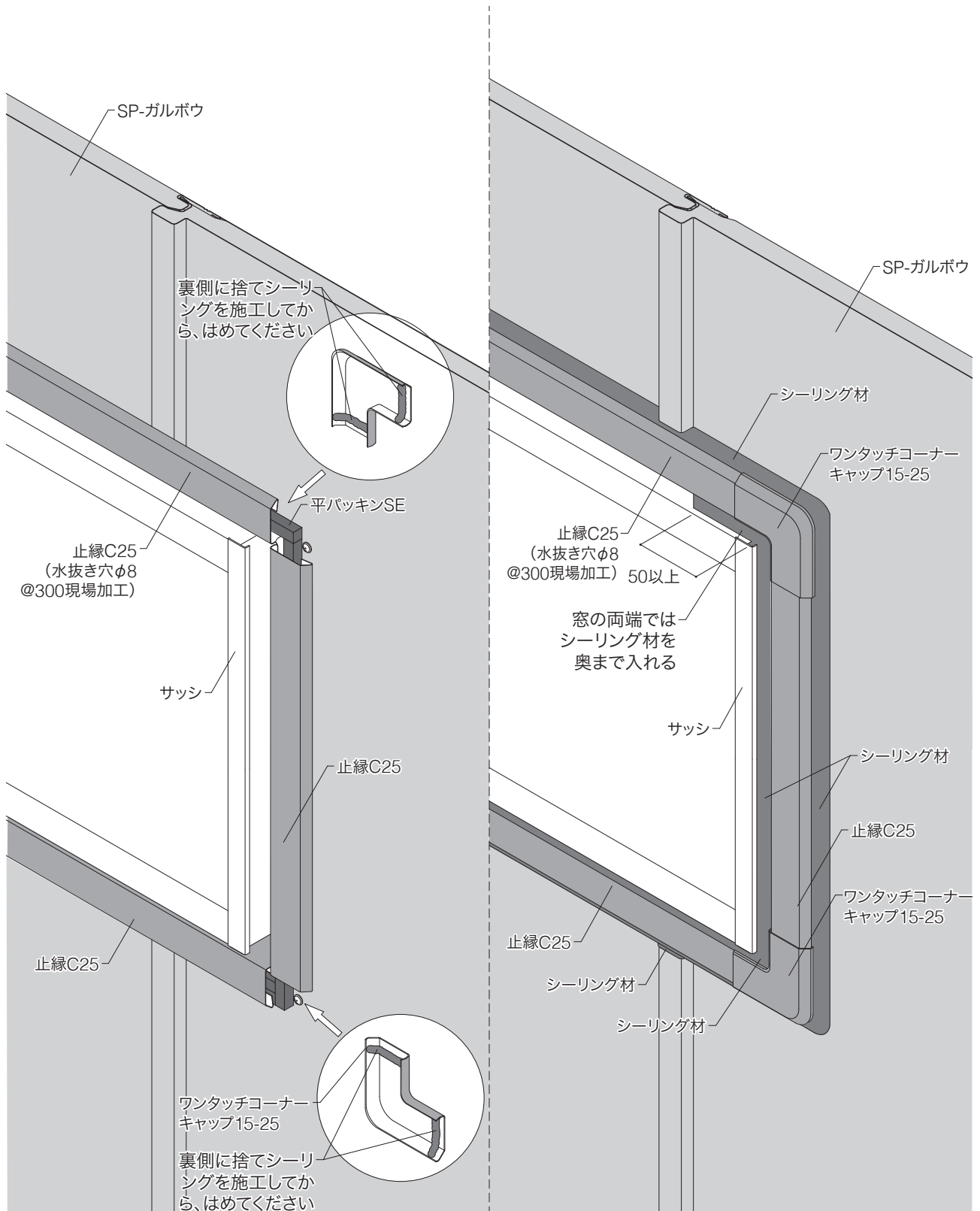
単位：mm

I. 開口部(2) 止縁C25(1部材)仕様

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・開口部上では、止縁C25の下端とサッシの間に左右両端50mm程度のシーリング材を奥まで入れてください。
- ・ワンタッチコーナーキャップに隠れない箇所で脳天打ちをしたくぎやビス頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：止縁C25・捨板(15×85)・平パッキンSE・ワンタッチコーナーキャップ15-25



5 各部位の納まり図

5. 各部位の納まり図

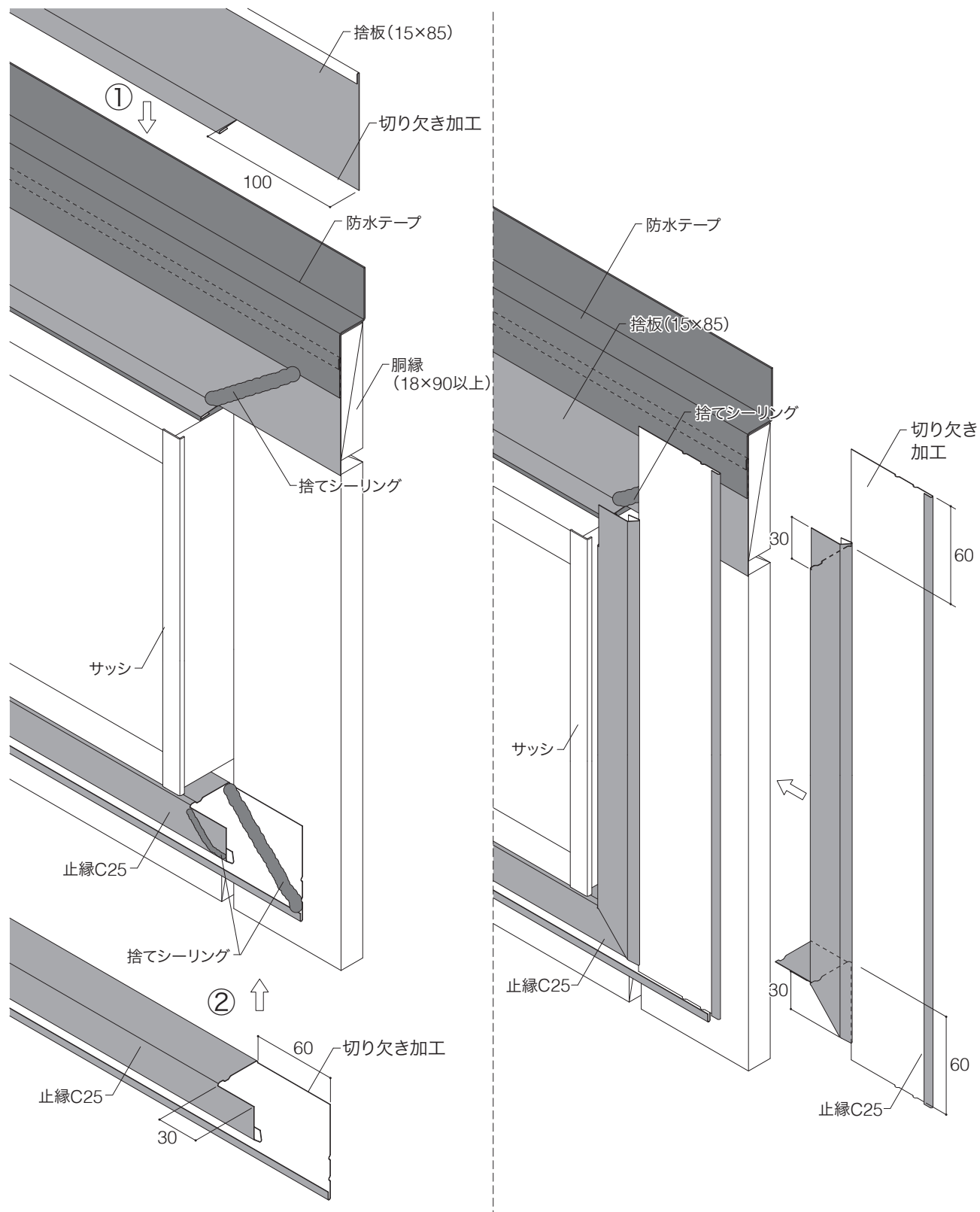
単位：mm

I. 開口部(2) 止縁C25(1部材)仕様

隅角部を加工する場合

- ① 捨板（15×85）とサッシの間には、捨てシーリングを施工してから取り付けてください。捨板（15×85）の上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ② 開口部下に止縁C25を取り付けてください。
- ③ 開口部左右に止縁C25を取り付けてください。
・各部材同士の重なり位置には捨てシーリングを施工してください。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・平パッキンSE



5. 各部位の納まり図

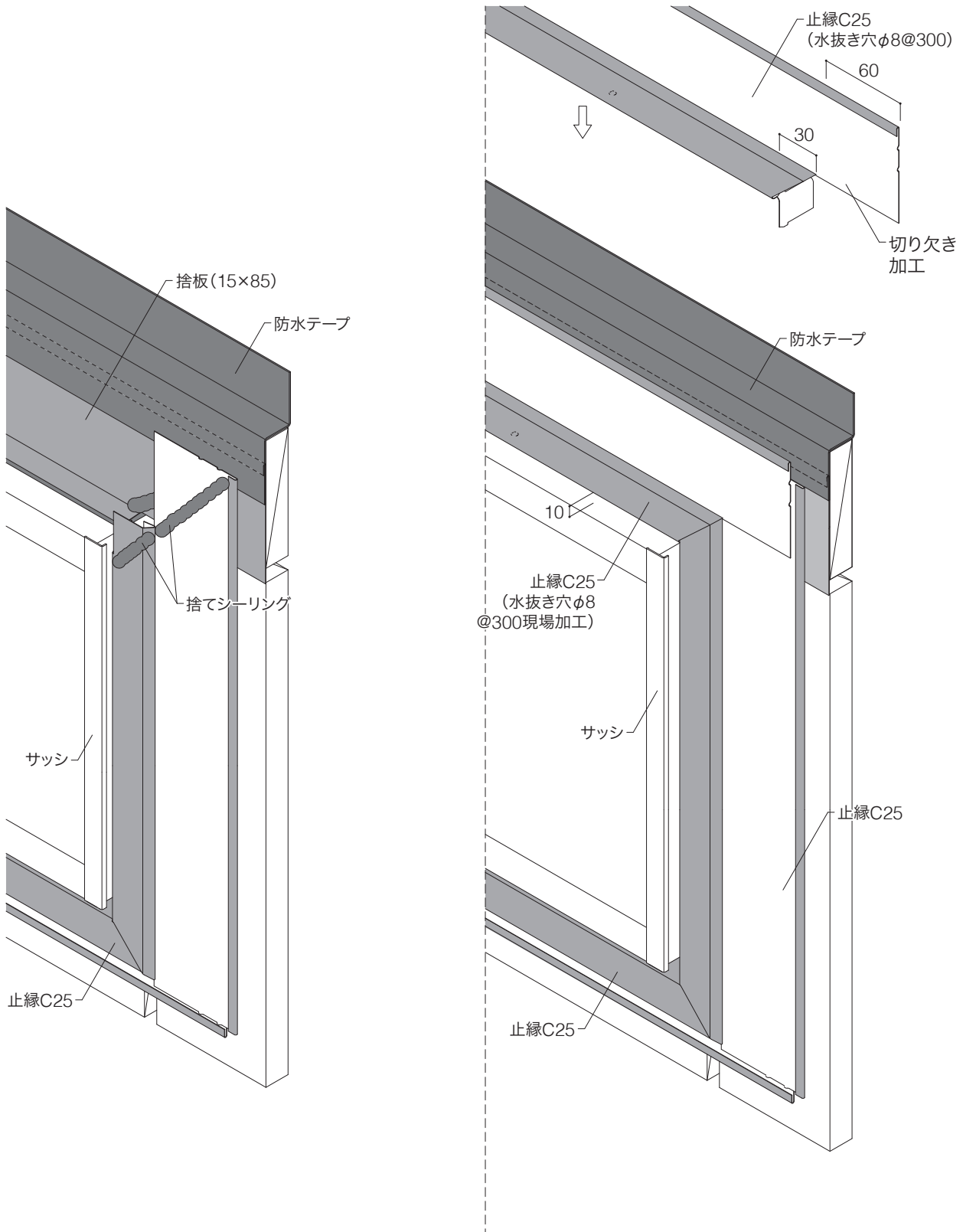
単位：mm

1. 開口部(2) 止縁C25(1部材)仕様

隅角部を加工する場合

- ・開口部上には、止縁C25（水抜き穴φ8@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・平パッキンSE



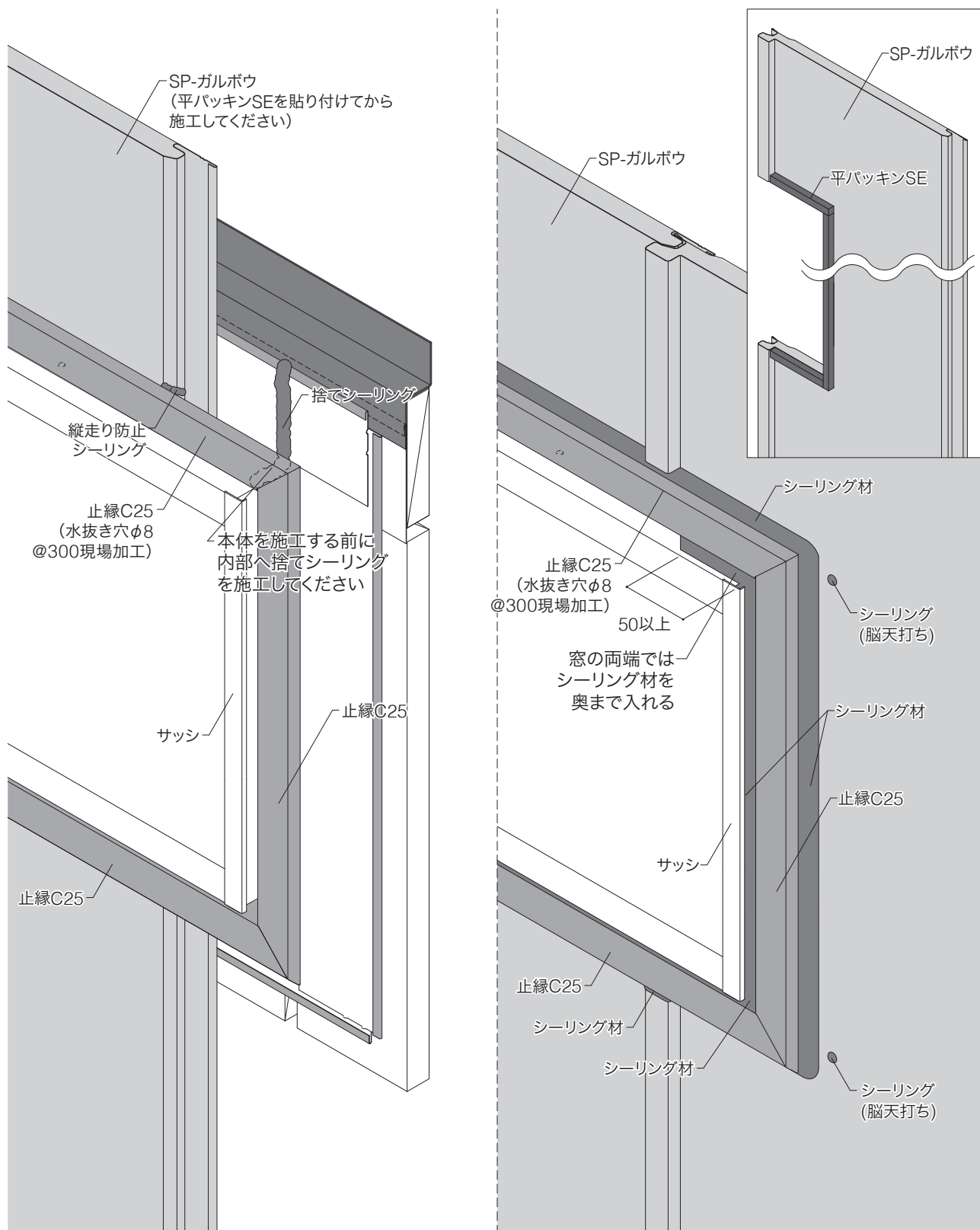
5 各部位の納まり図

1. 開口部(2) 止縁C25(1部材)仕様

隅角部を加工する場合

- ・ 本体を施工する前に止縁C25の内部に捨てシーリングを施工してください。
- ・ 開口部上に施工する本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・ 開口部上下左右に施工する本体には、平パッキンSEを貼り付けてください。

使用部材：止縁C25・捨て板(15×85)・平パッキンSE



6 部材の加工例とつなぎ方

6-1. 部材の加工例

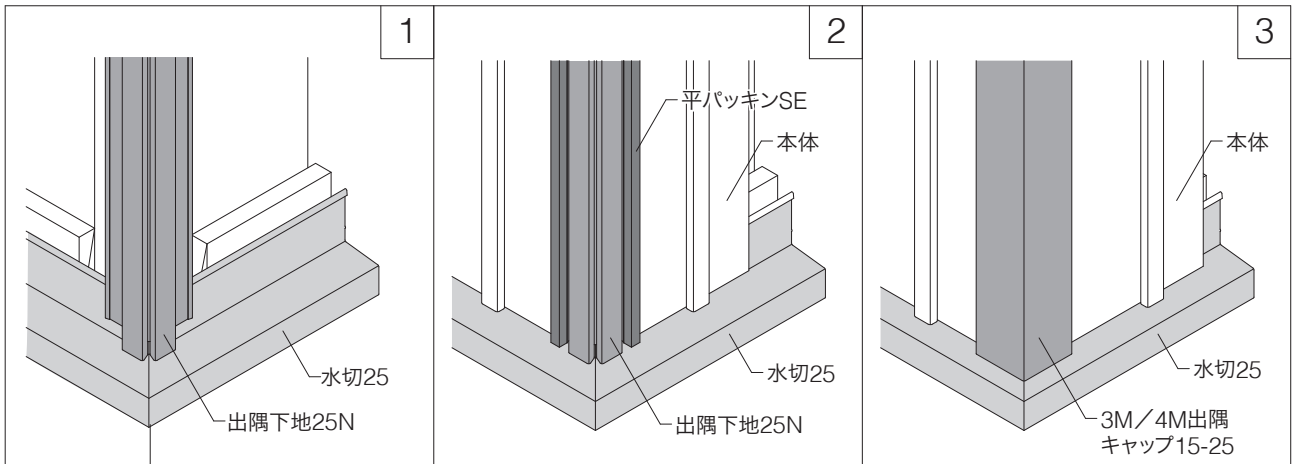
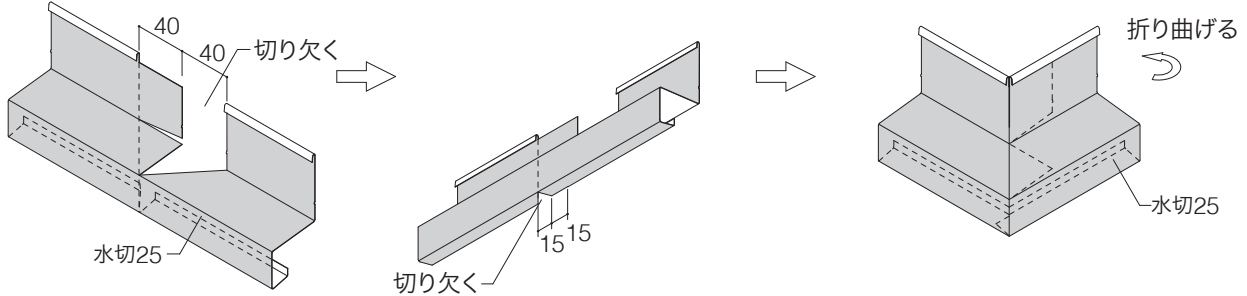
単位：mm

土台部・縦継ぎ部[出隅部](1)

使用部材：水切25・3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地25N

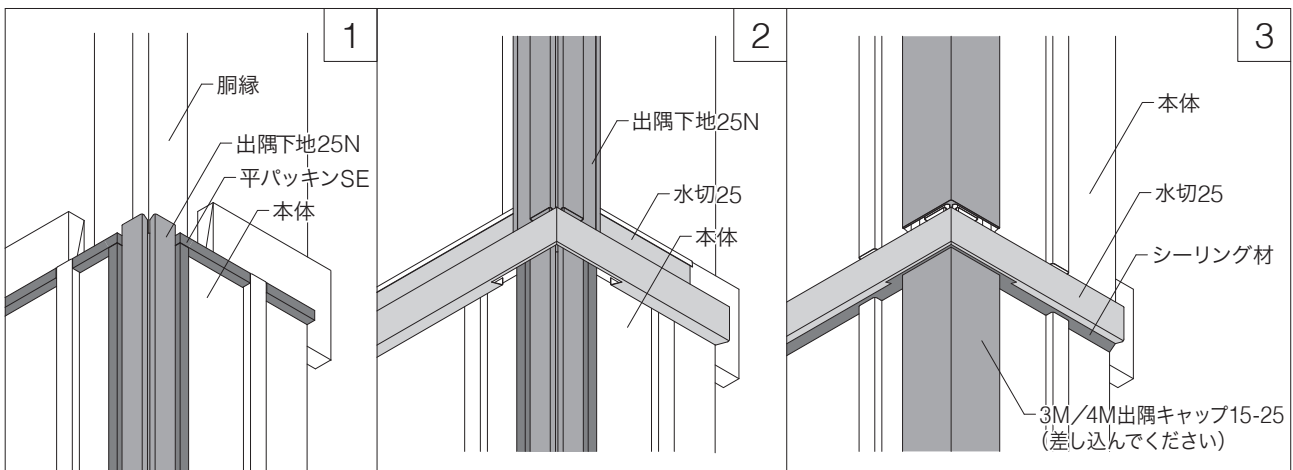
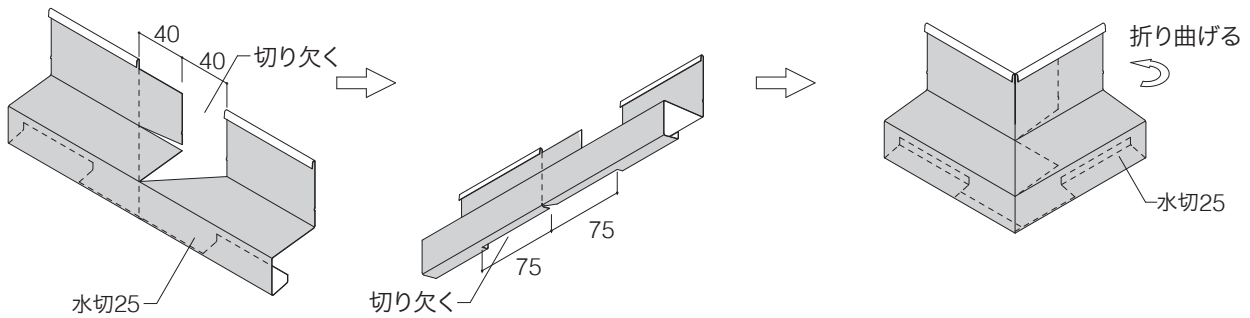
土台部[出隅]

下図の方法で部材を切り欠き加工し①～③の順序で施工してください。



縦継ぎ部[出隅]

下図の方法で部材を切り欠き加工し①～③の順序で施工してください。



6

部材の施工例とつなぎ方

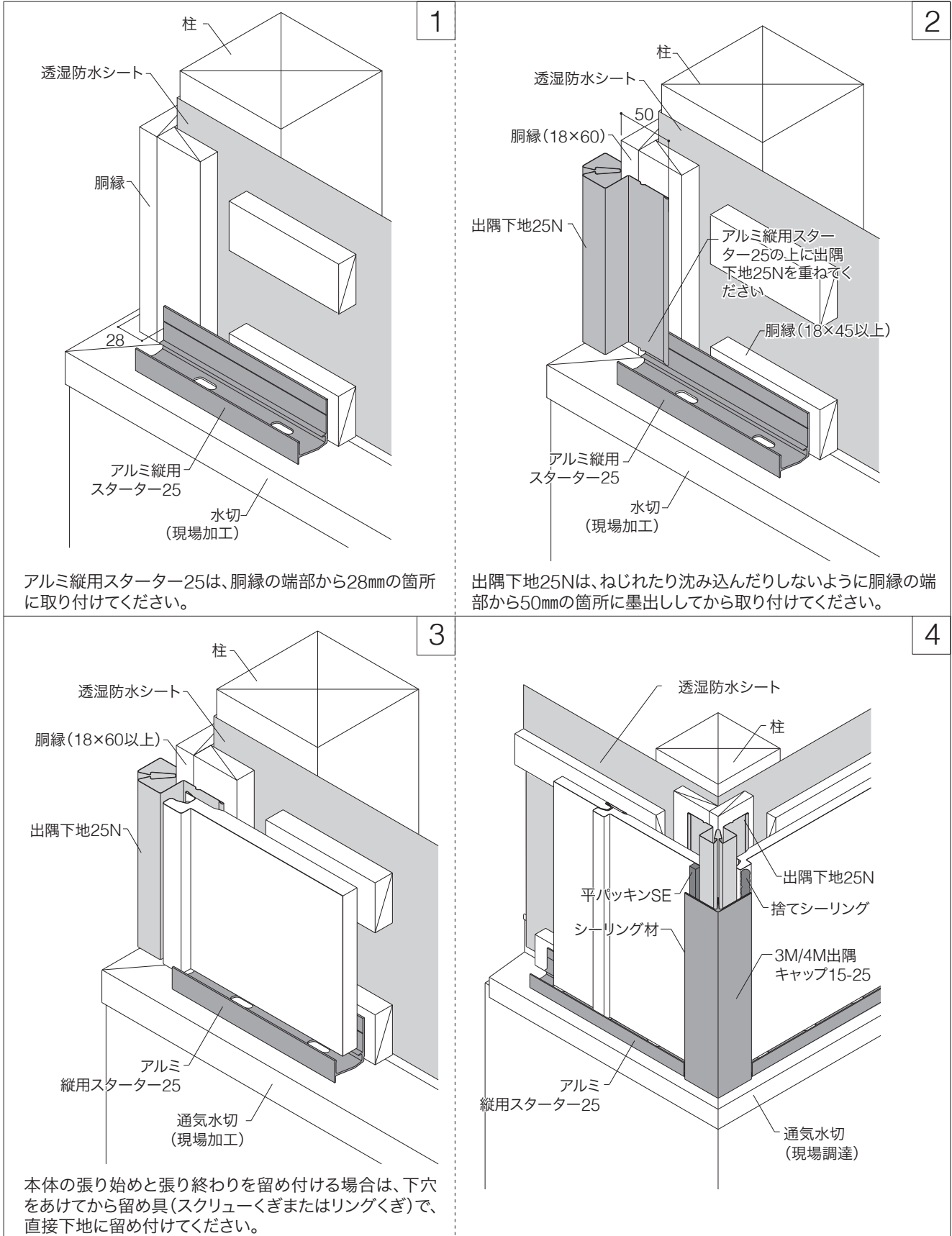
6. 部材の施工例とつなぎ方

単位：mm

土台部[出隅部](1)

使用部材：水切25・アルミ縦用スターター25・3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地25N

下図の順序で施工してください。



6
部材の施工例と
つなぎ方

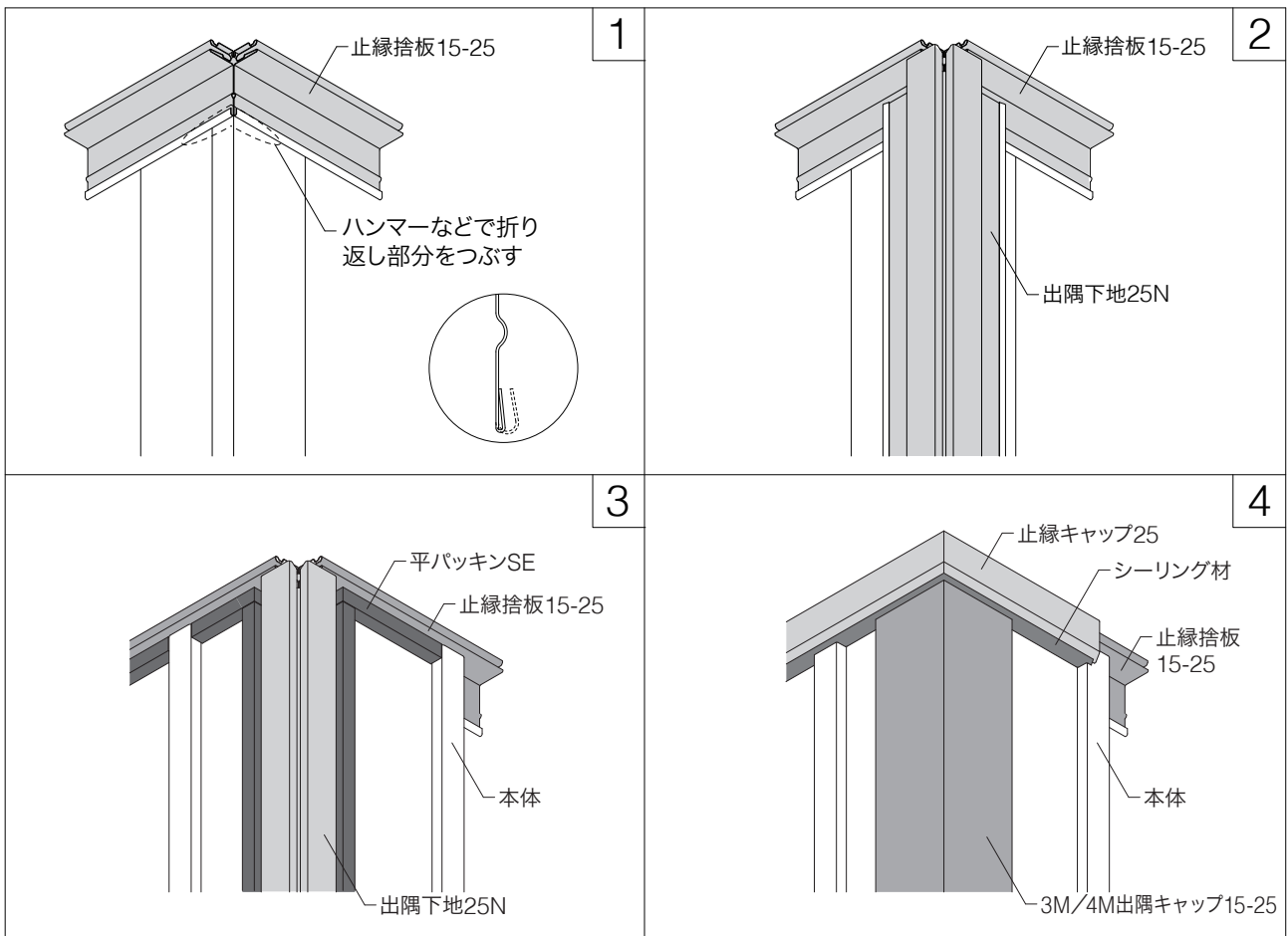
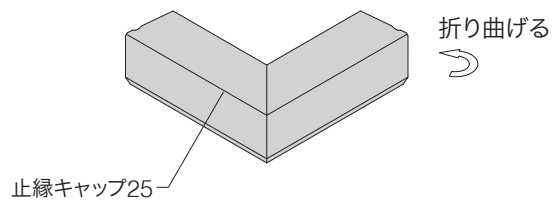
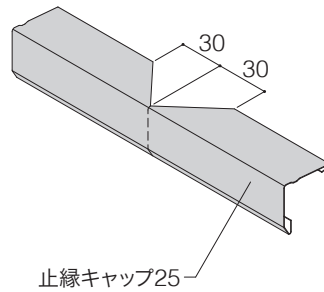
6. 部材の施工例とつなぎ方

単位：mm

軒部[出隅部]①

使用部材：止縁キャップ25・止縁捨板15-25・3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地25N

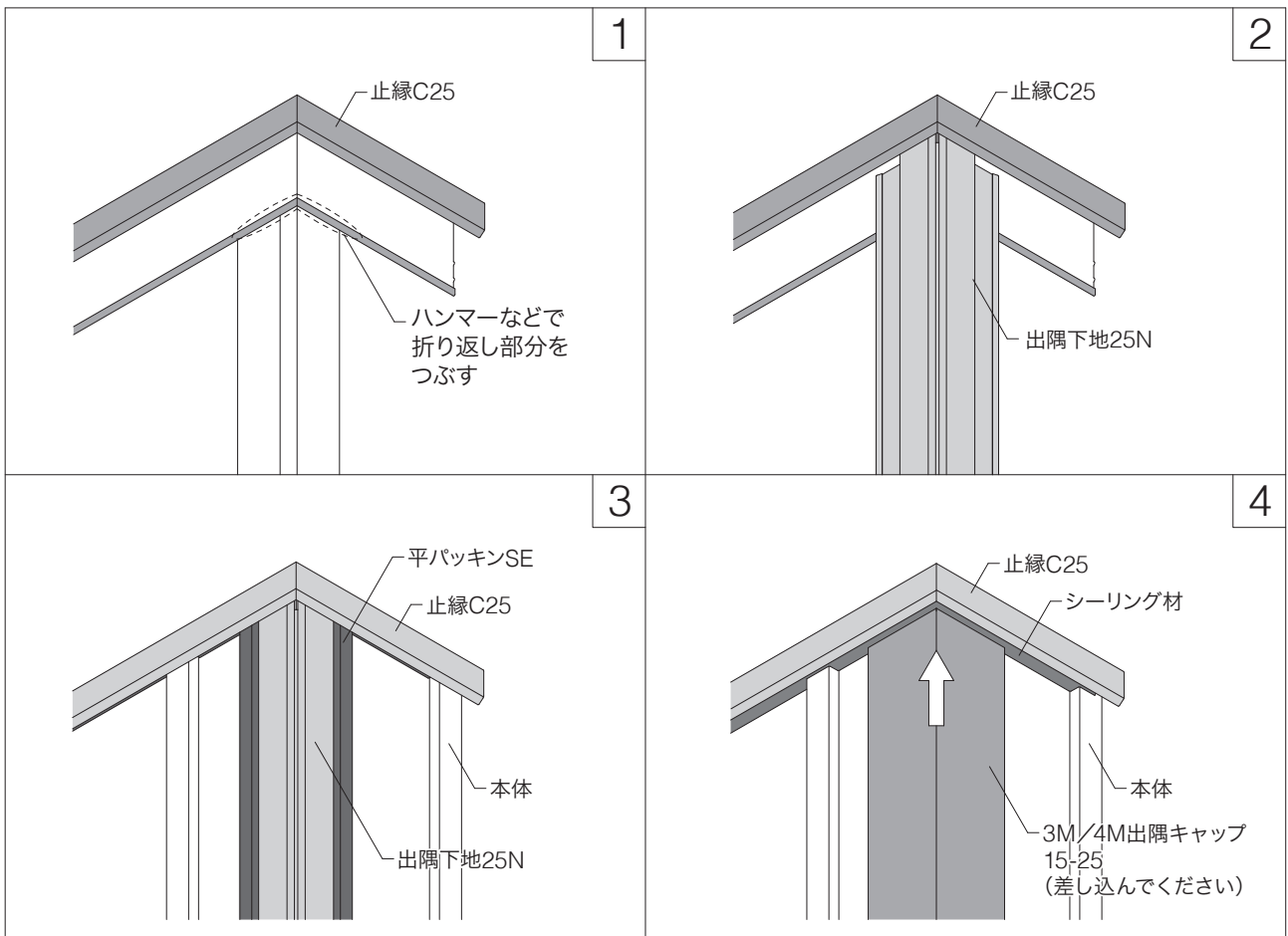
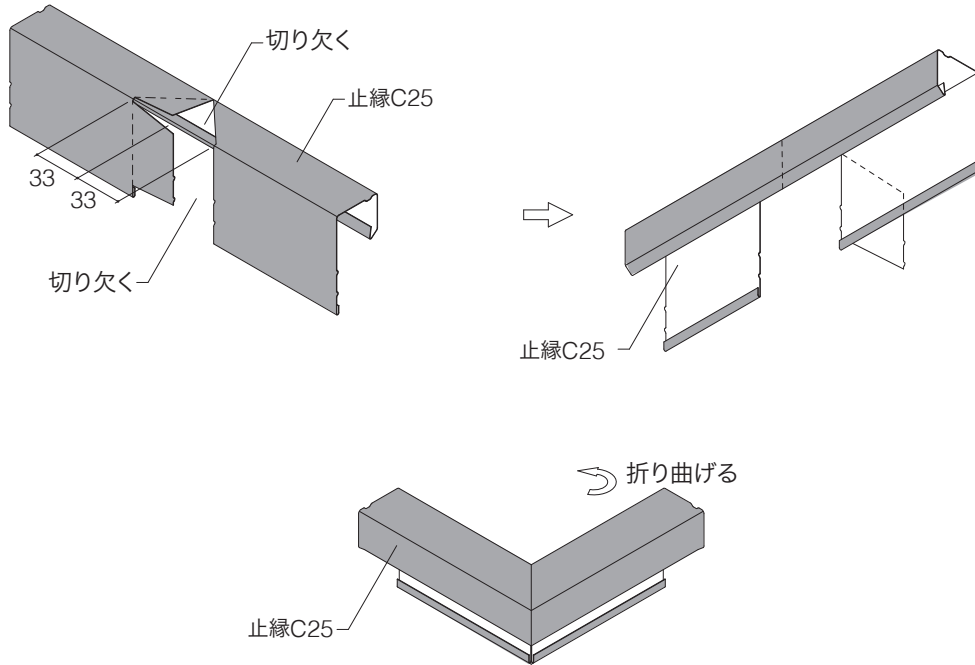
下図の方法で部材を切り欠き加工し①～④の順序で施工してください。



軒部[出隅部]②

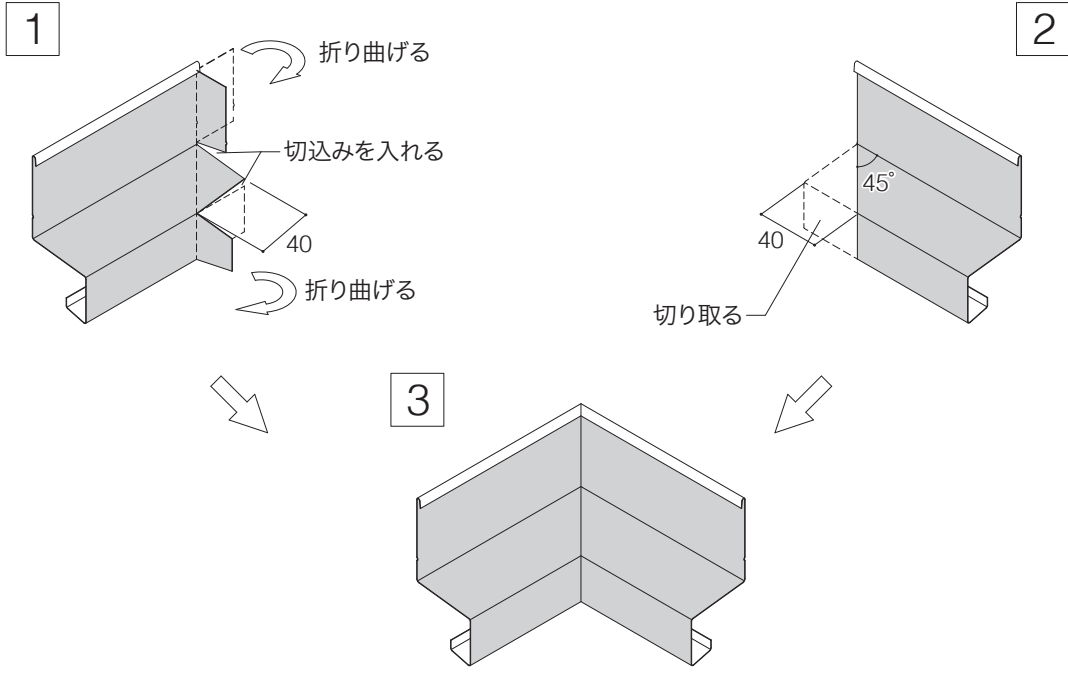
使用部材：止縁C25・3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地25N

下図の方法で部材を切り欠き加工し①～④の順序で施工してください。



土台部[入隅部] 使用部材：水切25

①～③の順序で切り欠き加工してください。



6-2. 部材のつなぎ方

単位：mm

<p>•水切25</p>	
<p>•縦用スターター25</p>	<p>•アルミ縦用スターター25</p>
<p>•止縁C25</p>	
<p>•止縁キャップ25</p>	
<p>•3M出隅キャップ15-25/4M出隅キャップ15-25</p>	<p>•出隅下地25N</p>